

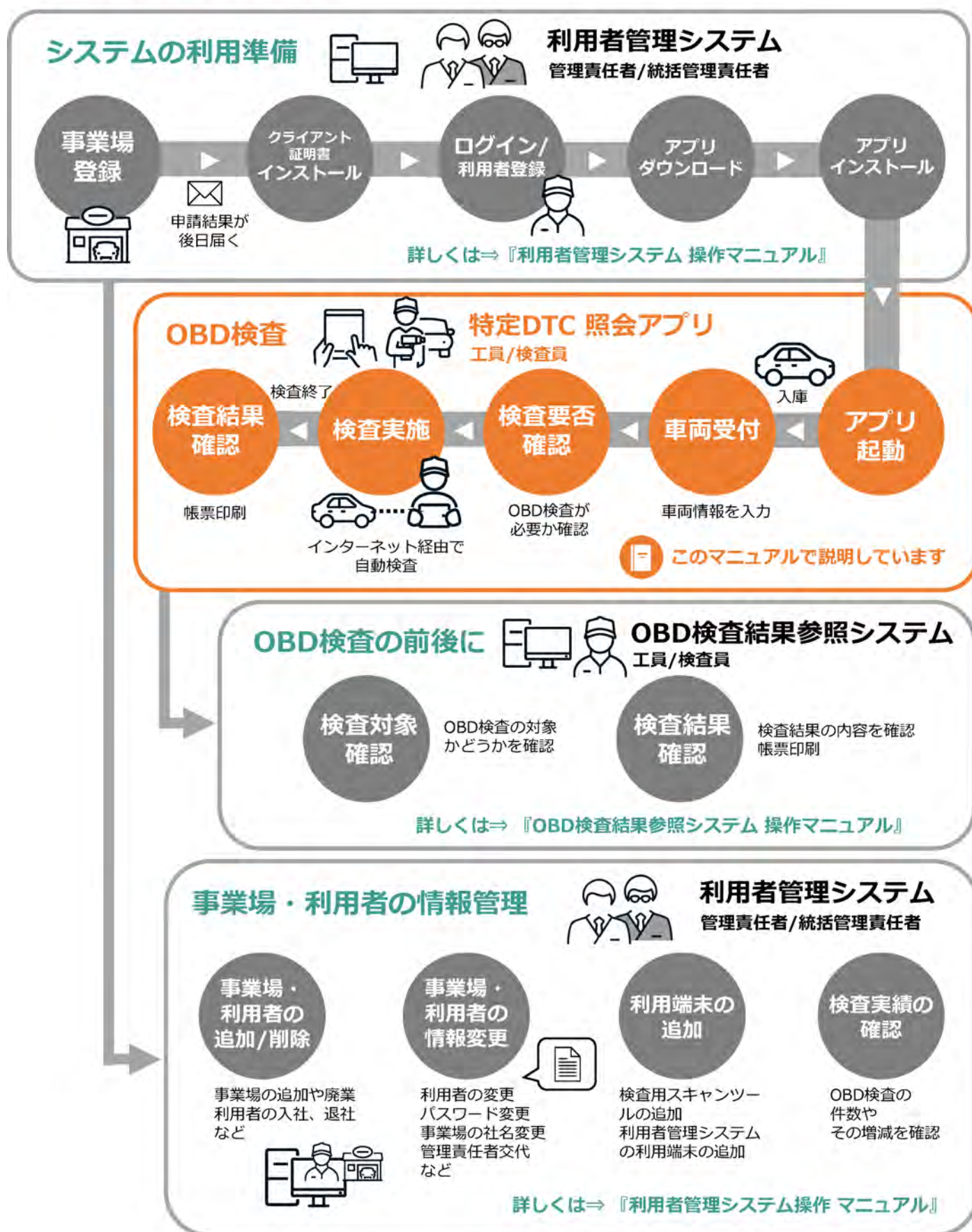
特定 DTC 照会アプリ【Android】 操作マニュアル

対象読者 | 事業場の工員または検査員



第 1.0 版

OBD検査の流れ



目次

マニュアルについて	4
1 はじめに	7
1.1 特定 DTC 照会アプリ【Android】とは.....	7
1.2 必要な機器や書類、アプリを使う前の作業.....	11
2 基本操作	14
2.1 ログインとログアウト.....	14
2.2 画面の見方と操作方法.....	24
2.3 よくある質問を確認する.....	27
3 車両受付をする.....	29
3.1 車両受付をする前に	30
3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する.....	31
3.3 車両情報を入力する	34
4 OBD 検査要否確認を行う.....	44
4.1 OBD 検査の要否を確認する.....	44
4.2 関連情報を確認する	48
4.3 その他参考情報を確認する	51
5 OBD 検査を行う	53
5.1 OBD 検査を実施する	54
5.2 警告灯判定画面が表示された場合	58
6 OBD 検査結果を確認する.....	61
6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する.....	61
6.2 OBD 検査結果を保存する	66
7 こんなときは	70
7.1 ユーザーID またはパスワードを忘れたとき.....	70
7.2 認証コードが届かないとき	70
7.3 パスワードを変更したいとき	71
7.4 生体認証でログインしたいとき	74
7.5 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）	76
7.6 「セッションタイムアウト」が表示されたとき	78

7.7	OBD 検査結果を参照したいとき	79
7.8	検査対象型式を検索したいとき	83
7.9	誤って OBD 確認で検査をしてしまったとき	85
7.10	アプリが起動できないとき	85
7.11	アプリにログインできないとき	85
7.12	アプリをインストールしたいとき	86
7.13	アプリをアップデートしたいとき	87
7.14	使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき	88
7.15	『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき	89
7.16	検査用スキャンツールに関するメッセージが表示されたとき	89
7.17	本アプリで画面の崩れが発生したとき	90
8	お問い合わせ	91
8.1	お問い合わせ先	91
9	付録	92
9.1	アプリが起動できない場合の対処方法	92
9.2	エラーメッセージと対処方法	94
9.3	運輸局・運輸支局名一覧（職権打刻）	99
9.4	OBD 検査ポータル	101
9.5	改訂履歴	101

マニュアルについて

本マニュアルは、特定 DTC 照会アプリ【Android】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。

■マニュアルの表記

本マニュアルでは、以下のマークや記号を使用しています。

マーク	説明
 ご注意	操作にあたって注意すべき情報を記載しています。
 メモ	操作手順の補足的な情報や、参考情報について記載しています。
 「〇〇」	本マニュアル内の参照箇所を記載しています。
 『〇〇』	マニュアルの名称を記載しています。
《〇〇》画面	特定 DTC 照会アプリ【Android】に表示される、画面の名称を記載しています。

■用語集

本マニュアルでは、以下の用語を使用しています。

用語	説明
DTC（故障コード）	Diagnostic Trouble Code。ECU が自己診断により異常を検知した際に記憶する異常部位・内容ごとに定められたコードのことで、多くは P、B、C、U およびその後の 4 桁または 6 桁の数字で示される。ただし、これによらず自動車製作者により独自に設定しているものもある。
ECU	Electronic Control Unit。エンジンやトランスミッションのほか、安全関係の装置などを電子的に制御する装置。
MIL（MI）	Malfunction Indicator Lamp。インパネなどに設置され、主に排ガスの機能に故障が発生した際にユーザーに対して発する警告表示。特定 DTC 照会アプリでは、ECU から取得できる MIL 信号の有無を読み取ってその結果を表示する。
OBD	On-Board Diagnostics。ECU に搭載された故障を自己診断する機能のことであり、車載式故障診断装置ともいう。
安全 OBD	安全関連装置の故障に係る自己診断機能。OBD は、海外を中心に一般的に排ガス関連装置を指すことがあるため、これを区別する場合に用いる。
OBD 検査システム	OBD 検査を実施するために必要となる OBD 検査用サーバーや特定 DTC 照会アプリなどの OBD 検査に関連する一連のシステム。
OBD 検査用サーバー	特定 DTC 照会アプリから送信された DTC（故障コード）などの情報から、特定 DTC（特定故障コード）への該当性などを判定し、結果を特定 DTC 照会アプリへ通知するサーバー。

用語	説明
VCI	Vehicle Communication Interface。検査用スキャンツールの一部であり、ECU と端末（AndroidOS がインストールされた端末）間の通信を中継する装置。
データリンクコネクタ	自動車との通信を目的として設置された外部接続用コネクタであり、OBD 用ケーブル（ケーブルと VCI が一体のものは VCI）の接続端子（コネクタ）と接続する。OBD ポートともいう。
特定 DTC	保安基準に不適合となる DTC（故障コード）。
検査用スキャンツール	国が定める基準に適合する OBD 検査のための機器。検査用スキャンツールは、主に特定 DTC 照会アプリ【Android】をインストールする端末（AndroidOS がインストールされた端末）および VCI で構成される。
レディネスコード（レディネス）	排ガス関連システムの OBD が実行する故障診断の実行履歴情報。一般的に、故障診断を実行されるとレディネスコードが完了となり、その際、異常が検知されれば DTC が OBD に記録される。なお、レディネスコードが未完了の場合は過去に故障診断が実行されていない状態を示す。
認証工場	道路運送車両法第 78 条第 1 項の認証を受けた事業場（対象とする自動車の種類が大型特殊自動車または二輪の小型自動車のみであるものを除く。）
指定工場	道路運送車両法第 94 条の 2 第 1 項の指定を受けた事業場（対象とする自動車の種類が大型特殊自動車または二輪の小型自動車のみであるものを除く。）
工員	事業場に配置される整備要員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 確認モードのみ利用できる。
検査員	道路運送車両法第 94 条の 4 第 1 項の規定により選任された自動車検査員。特定 DTC 照会アプリでは OBD 検査モードと OBD 確認モードを利用できる。
管理責任者	利用者管理システムに登録されている事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者。
統括管理責任者	利用者管理システムに登録されている複数の事業場をグループで統括して管理する場合の責任者。
J-OBD	道路運送車両の保安基準の細目を定める告示別添 48 に掲げる排ガス関連装置に関する OBD の基準。車両の諸元等により適用される OBD の基準が異なる。
電子車検証、車検証等	IC タグが付いた自動車検査証を「電子車検証」、紙の自動車検査証を「車検証等」とする。 車検証等には、登録識別情報等通知書、自動車検査証返納証明書、自動車予備検査証および限定自動車検査証を含む。
自動読取モード	特定 DTC 照会アプリ【Android】で定義された読取モード。電子車検証または車検証等の二次元コードを連続的に読み取る場合に選択する。
手動読取モード	特定 DTC 照会アプリ【Android】で定義された読取モード。電子車検証または車検証等の二次元コードを一つずつ読み取る場合に選択する。

■ 関連マニュアル

OBD 検査システムに関連するマニュアルは、以下の4冊です。

マニュアル名称	記載内容
特定 DTC 照会アプリ【Android】 操作マニュアル (本マニュアル)	特定 DTC 照会アプリ【Android】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。
特定 DTC 照会アプリ【Windows】 操作マニュアル	特定 DTC 照会アプリ【Windows】を利用して OBD 検査を行う操作について説明しています。
利用者管理システム 操作マニュアル	OBD 検査システムの利用申請や管理を行う操作について説明しています。
OBD 検査結果参照システム 操作マニュアル	OBD 検査の後に検査結果を確認したり、問い合わせに応じて OBD 検査の対象型式かどうかを確認する操作について説明しています。

■ 商標および免責事項

- その他、本書に記載の会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載のシステム名、製品名等には、商標表示（®、™）を付記していません。
- アプリは、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。
- 本書に掲載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。

1 はじめに

1.1 特定 DTC 照会アプリ【Android】とは

特定 DTC 照会アプリ【Android】（以降、「アプリ」と記載）は、車両が OBD 検査の対象であるか確認を行い、車両や OBD 検査用サーバーと通信して OBD 検査の合否を判定するためのアプリケーションです。



アプリは、システムのメンテナンス時間を除き、24 時間 365 日利用できます。



メモ

システムのメンテナンス時間は、あらかじめ《ホーム（お知らせ）》画面の「お知らせ」で通知されます。「お知らせ」の確認方法については、「■《ホーム》画面から操作する」(P. 24) を参照してください。

■ OBD 検査とは

OBD 検査とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査の検査項目として、令和 6 年 10 月 1 日（輸入車は令和 7 年 10 月 1 日）に新たに追加されました。OBD 検査の対象となる車両は、国産車は令和 3 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和 4 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）です。



メモ

- OBD 検査の対象となる車両の電子車検証には、「OBD 検査対象」（車検証等の場合は「OBD 検査対象車」）などの記載があります。
- OBD 検査の対象となる車両であっても、以下に該当する場合には、OBD 検査が不要となります。OBD 検査の要否は、アプリまたは OBD 検査結果参照システムで確認してください。
 - 型式指定の日から 2 年を経過していない車両
 - 初度登録年月または初度検査年月の前月の末日から起算して 10 ヶ月を経過していない車両

■ 検査種別（モード）

アプリには、OBD 検査と OBD 確認の 2 つの検査種別（モード）があります。利用者・用途に応じて利用するモードを選択してください。

なお、OBD 検査モードと OBD 確認モードの操作手順に大きな違いはありません。

モード	利用者	用途
OBD 検査	指定工場の検査員	法令に準拠して OBD 検査を実施する際に利用します。
OBD 確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	点検・整備時に、OBD 検査と同等の確認（OBD 確認）を行う際に利用します。ただし、以下の条件等により実施できる項目または表示内容が異なる場合があります。 【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以降）】 • OBD 検査と OBD 確認で実施できる項目は同一です。 【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以前）】 • 一部の車両において、安全関係装置の OBD が確認できません。 • 排ガス関係の OBD を確認できますが、一部の車両において DTC（コード）のみが表示され、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 【OBD 検査対象外車（J-OBD II またはディーゼル重量車 J-OBD II 規制）】 • 国際規格（OBD II）に準拠した排ガス関係の OBD を確認できますが、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 【OBD 検査対象外車（J-OBD I 規制）】 • 「検査要否確認」および「実行」まで操作が可能ですが、通信不成立となる場合があります。 【OBD 検査対象外車（排ガス規制を受けない車両（EV、FCV 等））】 • 「検査要否確認」まで操作が可能です。「実行」の操作は行えません。



メモ

参考（排ガス規制の適用年）

＜J-OBD II 規制車（現 WLTP-OBD 規制車）＞～車両総重量 3.5 t 以下のガソリン・LPG 車～

新型車：平成 20 年 10 月以降

継続生産車、輸入車：平成 22 年 9 月以降

＜ディーゼル重量車 J-OBD II 規制車＞～車両総重量 3.5 t 超のディーゼル車～

新型車：令和 2 年 10 月以降（※）

継続生産車：令和 3 年 9 月以降（※）

※車体の形状または車両総重量により適用時期が異なるが、適用のもっとも遅い時期を記載



ご注意

本マニュアルでは、OBD 検査モードの画面と操作手順を説明しています。

必要に応じてご利用いただくモードに読み替えてください。

■アプリの機能

OBID 検査で使用する機器の設定

車両との通信に使用する検査用スキャンツールを確認・変更できます。

OBID 検査の実施

入力した車両情報に基づき、OBID 検査の要否を確認したうえで、必要に応じて OBID 検査を実施します。OBID 検査では、検査用スキャンツールを介して車両から特定 DTC 等の情報を読み取り、アプリに合否判定の結果を表示します。

OBID 検査結果の出力

アプリで実施した OBID 検査の詳細結果は、帳票（PDF 形式）および CSV 形式のファイルとして出力することが可能です。

- 帳票（PDF 形式）：検査結果を印刷することで、自動車使用者の方への説明などに活用できます
- CSV 形式：外部システムへのデータ取り込みなどに利用できます

検査に用いる付帯情報の閲覧

入力した車両の諸元情報やリコール情報が閲覧できます。

なお、以下に該当する場合は、付帯情報が閲覧できないことがあります。

- 車名コードが特定できない場合：リコール情報が閲覧できません
- 類別区分番号が特定できない場合：諸元情報が閲覧できません

OBID 検査結果参照

OBID 検査や OBID 確認を実施した車両については、検査の判定日や車両情報をもとに検索することで、過去の OBID 検査結果を確認することができます。

検査対象型式検索

型式や初度登録年月または初度検査年月から、OBID 検査が必要な車両かどうかを確認します。OBID 検査が必要な車両の場合、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報など、OBID 検査や OBID 確認を行うときに参考となる情報も確認できます。

1.2 必要な機器や書類、アプリを使う前の作業

■アプリの動作環境

アプリは AndroidOS がインストールされた端末にインストールして使います。AndroidOS がインストールされた端末は、以下の動作環境を満たす必要があります。

- CPU 2GHz 以上（推奨）
- メモリ 2GB 以上（推奨）
- ストレージ 空き容量 1 GB 以上
- OS AndroidOS



バージョンの詳細については OBD 検査ポータルを参照してください。

- ネットワーク通信 インターネット接続が可能であること

■アプリで OBD 検査を行うための条件

アプリで OBD 検査を行うためには、以下の条件があります。

- アプリを使っている（起動している）間は、インターネットを常に接続状態にしていること。
- 検査用スキャンツールの端末（AndroidOS がインストールされた端末）に、アプリがインストールされていること。アプリのインストールについては、📖「7.12 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。
- 検査用スキャンツールとの接続が可能であること。接続方式については、各スキャンツールメーカーの取扱説明書を参照してください。

■ OBD 検査に必要なもの

アプリを利用して OBD 検査を行うには、以下の機器や書類が必要です。

- 電子車検証または車検証等

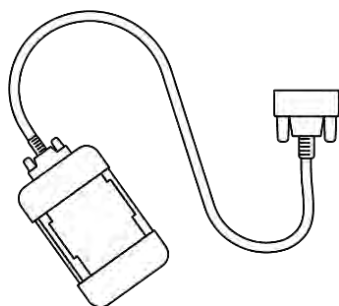


電子車検証

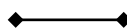


車検証等

- 検査用スキャンツール



VCI



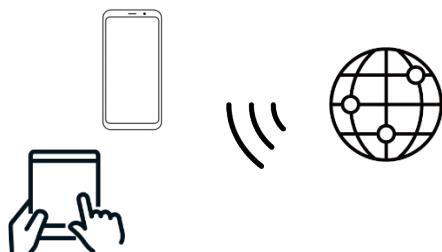
AndroidOS がインストールされた端末

- 車両

■アプリを使う前の確認

以下の作業や確認が行われていることをチェックしてください。

- ☐ 端末、インターネット環境が用意されている



- ☐ 使用する端末に、アプリがインストールされている

インストール手順については、📖「7.12 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。

- ☐ VCI 本体と Android 端末の接続設定

接続手順については、各スキャンツールメーカーの取扱説明書を参照してください。



準備ができたなら、アプリを使い始めましょう。

2 基本操作

2.1 ログインとログアウト

統括管理責任者または管理責任者は、工員・検査員の利用者登録を事前に利用者管理システムで行い、利用者ごとにユーザーIDを発行してください。ユーザーID またはパスワードが分からない場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。



ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。
- ユーザーID、パスワードを忘れた場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。
- 認証コードを受信するには、利用者管理システムにおいて利用者の「メールアドレス」を入力する必要があります。
- 初回ログイン時、「生体認証ログイン」は利用できません。
- 初回ログイン時に「生体認証用ユーザー登録する」を選択しても、初期パスワード変更により、2 回目のログイン時に再登録が必要となります。

■アプリにログインする（初回）

1. 端末のホーム画面にあるアプリのアイコンを押す



特定 DTC 照会アプリ【Android】が起動します。

2. 管理責任者または統括管理責任者から通知された「ユーザーID」、「パスワード」（初期パスワード）を入力する



メモ

- パスワード欄の  のマークを押すと、入力したパスワードが確認できます。



- 「ユーザーID を記憶する」にチェックを付けてログインすると、次回からユーザーID の入力が省略できます。



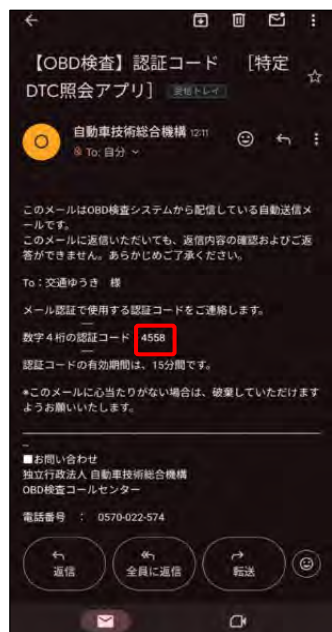
ご注意

- パスワードを 5 回間違えて入力すると、15 分間アカウントがロックされます。15 分経ってから、もう一度ログイン操作を行ってください。
- アプリの初期パスワードの有効期限は、設定した利用開始日から 30 日間です。初期パスワードの有効期限が切れていてログインできない場合は、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。
- 管理責任者または統括管理責任者は、 『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照して、パスワードの初期化を行ってください。
- OBD 検査結果参照システムまたは特定 DTC 照会アプリ【Windows】にて、初回のログインを行っている場合、本手順は不要です。
- アプリのパスワードを変更すると、OBD 検査結果参照システムと特定 DTC 照会アプリ【Windows】のパスワードも変更されます。

3. 「ログイン」を押す

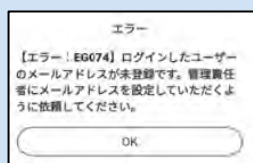
4. 認証メールに記載されている認証コード 4 桁を入力し、「OK」を押す

送付先メールアドレスは利用者管理システムで設定されている利用者メールアドレスです。

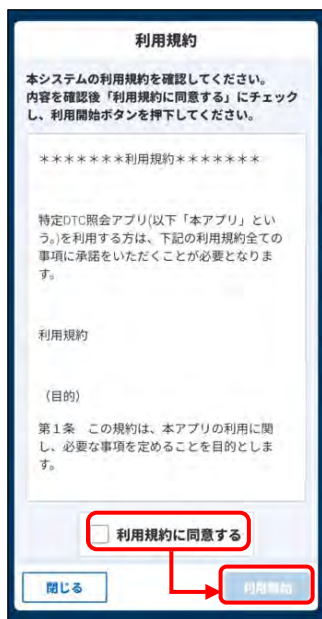


メモ

- 認証コードが 15 分経っても届かない場合は、📖「7.2 認証コードが届かないとき」を参照してください。
- 利用者のメールアドレスは未登録の場合、以下のエラーが表示されます。📄『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照して利用者のメールアドレスを登録してください。



5. 利用規約を確認後、「利用規約に同意する」にチェックを付け、「利用開始」を押す



6. パスワードを入力する

- ① 「現在のパスワード」に初期パスワードを入力します。
- ② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。
- ③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。





ご注意

- パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。
 - 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること
 半角英字：A～Z、a～z
 半角数字：0～9
 半角記号：「-」「_」「.」「@」
 例) Abc@92_i
 - 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること
 - 初期パスワードと異なる文字列であること
- アプリのパスワードを変更すると、OBD 検査結果参照システムと特定 DTC 照会アプリ【Windows】のパスワードも変更されます。
- 生体認証ログインを行っている場合は、本機能のパスワード変更を行った際に、次回ログイン時に生体認証ログイン用ユーザー情報の更新が必要となります。
 詳細は、 「7.4 生体認証でログインしたいとき」を参照してください。

7. 「変更」を押す

メニュー パスワード変更 ユーザー

初回ログインです。パスワードを変更してください。

現在のパスワード 必須

新しいパスワード 必須

Abc@92_i

新しいパスワード (確認) 必須

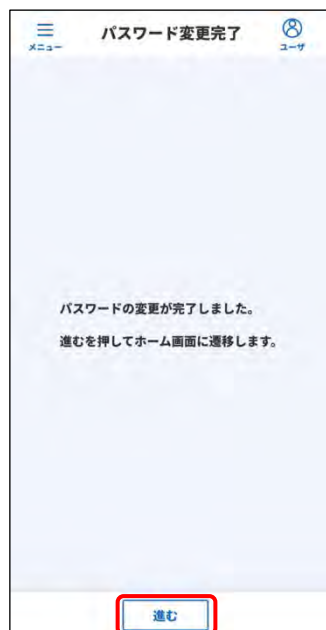
※パスワード設定ポリシー

- 利用できる文字は半角英字、半角数字、半角記号(-, _, ., @)で、これら3種類が含まれていること
- 8文字以上20文字以下であること
- ユーザーIDと同じではないこと

生体認証ログインをお使いの場合は、生体認証用ユーザーの再登録が必要です。
詳しくは操作マニュアルをご確認ください。

変更 >

8. 「進む」を押す



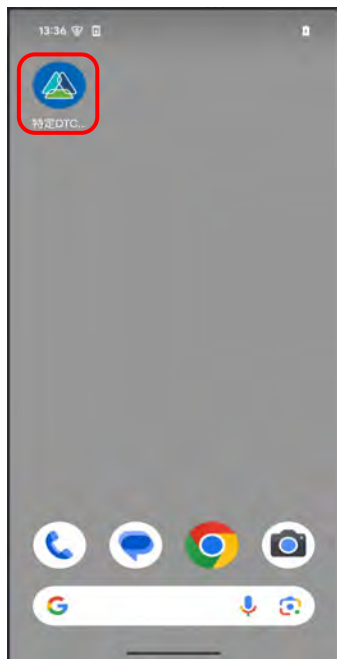
《ホーム》画面が表示されます。

上記は、指定工場の検査員向けの画面例です。

以上で、アプリへのログイン（初回）の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

■アプリにログインする（2回目以降）

1. 端末のホーム画面にあるアプリのアイコンを押す



特定 DTC 照会アプリ【Android】が起動します。

2. 「ユーザーID」、「パスワード」を入力する



「利用規約」を押すと、利用規約の内容が表示されます。



メモ

- パスワード欄の👁のマークを押すと、入力したパスワードが確認できます。

- 「ユーザーIDを記憶する」にチェックを付けてログインすると、次回からユーザーIDの入力が省略できます。

- パスワードを変更したいときは、📖「7.3 パスワードを変更したいとき」を参照してください。



ご注意

- パスワードを5回間違えて入力すると、15分間アカウントがロックされます。15分経ってから、もう一度ログイン操作を行ってください。
- パスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者に連絡し、利用者管理システムによりパスワードのリセットを依頼してください。

3. 「ログイン」を押す



《ホーム》画面が表示されます。

上記は、指定工場の検査員向けの画面例です。

利用規約の確認画面が表示された場合

利用規約が更新された場合には、《利用規約》画面が表示されます。確認したうえで「利用開始」を押してください。

以上で、アプリへのログイン（2回目以降）の操作は完了です。必要に応じて次の操作に進んでください。

■アプリからログアウトして終了する

アプリを終了するときはログアウトしてください。

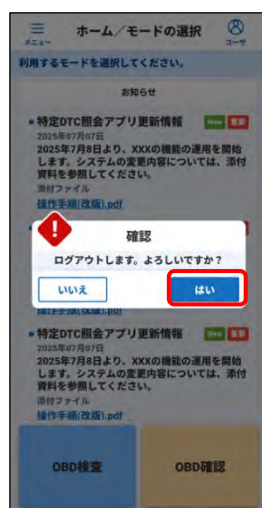
1. 画面左上にある「メニュー」を押す



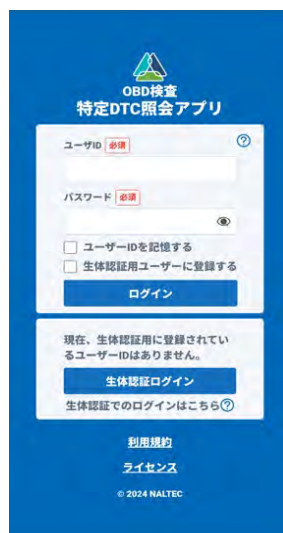
2. メニューの「ログアウト」を押す



3. 表示された「確認」のポップアップにある「はい」を押す



4. 《ログイン》画面が表示されたら、アプリを終了する



アプリを終了する操作を行ってください。



メモ

ログインしたまま一定時間操作しないと、《セッションタイムアウト》画面が表示されます。

📖 「7.6 「セッションタイムアウト」が表示されたとき」を参照して操作を行ってください。

2.2 画面の見方と操作方法

■ 《ホーム》画面から操作する

ログインすると、《ホーム》画面が表示されます。

《ホーム》画面では、利用するモードが選べるほか、システムからのお知らせ情報などが確認できます。



No.	項目	説明
①	お知らせ	システムからのお知らせがある場合に確認できます。 例) ・ OBD 検査システムのメンテナンス情報 ・ アプリの更新情報
②	モード選択	表示されるモードを選択します。 モードの選択については、📖「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」を参照してください。 表示されるモードは利用者によって異なります。
③	各種リンク	画面左上のメニューボタンを押すと、以下の画面が表示されます。 ・ OBD 検査結果参照：📖「7.7 OBD 検査結果を参照したいとき」を参照 ・ 検査対象型式検索：📖「7.8 検査対象型式を検索したいとき」を参照 ・ パスワード変更：📖「7.3 パスワードを変更したいとき」を参照 ・ よくある質問：📖「2.3 よくある質問を確認する」を参照 ・ ログアウト：📖「■ アプリからログアウトして終了する」を参照
④	アプリバージョン	本アプリのバージョン情報が表示されます。

■項目のガイドを表示する

説明が必要な項目の横には、が表示されています。を押すと、その項目の詳細な説明を確認できます。



■前の画面に戻る

「戻る」を押すと前の画面に戻ることができます。

例えば、《パスワード変更完了》画面から《ホーム》画面に戻る場合は以下ようになります。

《パスワード変更完了》画面



《ホーム》画面が表示されます

！ ご注意

Android 端末の画面スワイプやフッターの戻るボタンはアプリ上では使用できません。

■メニュー遷移

左上側のメニューから各種リンクが表示できます。

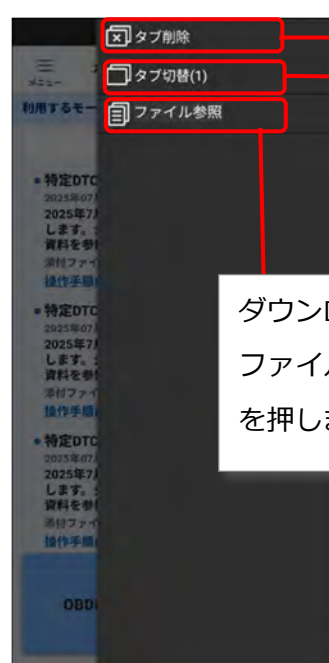
また、右上側のメニューからタブの切替やダウンロードファイルの一覧表示が可能です。

メニュー（左）：



リコール情報やチャットボットなどが別タブで開かれるので、そのタブを削除できます。本アプリのメイン画面は削除できません。

メニュー（右）：



メイン画面やリコール情報、チャットボットなどのタブを切り替えられます。

ダウンロードしたCSVファイルとPDFファイルを参照したい時には、こちらを押します。

2.3 よくある質問を確認する

困ったときや、分からないことがあるときは、《よくある質問》画面を確認してください。

『特定 DTC 照会アプリ【Android】 操作マニュアル』リンク先のご参照や、よくある質問に対する回答の確認、チャットボットでの問い合わせができます。また、お問い合わせ先として OBD 検査コールセンターの電話番号が記載されています。

メニューから「よくある質問」を押すと、《よくある質問》画面が表示されます。



No.	項目	説明
①	各種マニュアル	本アプリではマニュアルのボタンを押すと、OBD 検査ポータル操作マニュアルのページに遷移します。(別タブ表示) ユーザーは別タブ表示された OBD 検査ポータルからマニュアルがダウンロードできます。
②	よくあるご質問一覧	▶を押すと、カテゴリごとの質問と回答が確認できます。 よくあるご質問一覧 ▶ユーザーID またはパスワードについて ▶ユーザー情報の追加・変更・削除について ▶特定DTC照会アプリについて ▶セッションタイムアウト画面について ▶トラブル事例 ▶サポートについて ▶その他 → よくあるご質問一覧 ▼ユーザーID またはパスワードについて Q どのシステムで、どのユーザーIDを使えば良いのかわからない A 【利用者管理システム】 ・統括管理責任者または管理責任者のユーザーIDを使用してください。工具・検査員のユーザーIDではご利用できません。 ・統括管理責任者または管理責任者のユーザーIDが不明の方は、事業場の申請結果のメールに記載されているユーザーID

No.	項目	説明
③	お問い合わせ	「チャットボット」を押すと、チャットボットの画面（質問に自動で回答してくれる画面）が開きます。  困ったことや知りたい内容についてメッセージを入力して質問すると、対話形式で回答を確認できます。 「質問を入力してください」欄にメッセージを入力し、➡を押すと、メッセージが送信されます。 注）チャットボットは日本語のみ対応しています。 - 電話で直接問い合わせをする場合は、アプリに表示されている電話番号に連絡してください。また、問い合わせ可能な時間帯などについてもアプリに表示されています。

3 車両受付をする

車両受付から、実際の OBD 検査が始まります。車両受付とは、車両の情報をアプリに入力することです。アプリでは、最初にモードを、続いて検査用スキャンツールを選択して、車両受付を行います。



ご注意

電子車検証または車検証等の備考欄に「OBD 検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD 検査対象」）などの記載がある車両は、法令で OBD 検査の対象とされています。



備考

OBD 検査対象車 または OBD 検査対象

なお、OBD 検査の対象となる車両であっても、OBD 検査が不要となる場合があります。

■ 車両受付が可能な車両

特定 DTC 照会アプリでは以下の条件を満たす場合に車両受付以降の操作を実施できます。

- 電子車検証または車検証等に「OBD 検査対象」と記載がある
- 電子車検証または車検証等に記載（記録）の OBD 検査開始年月日以降である
- 初度登録年月（軽自動車は初度検査年月）から 10 ヶ月経過している

また、OBD 検査対象外であっても一部の車両については車両受付以降の操作を実施できます。ただし、以下の車両については車両受付を実施できない（車両情報入力時にエラーとなる）、または車両との通信が行えない場合があります。

- 並行輸入自動車（型式が「不明」または型式の前後に「ハイフン（-）」があるもの
- 試作車、組立車
- 初度登録年月（軽自動車は初度検査年月）が平成 22 年 8 月以前の車両
- 排ガス規制を受けない車両（EV、FCV 等）

詳細については、📖「4.1 OBD 検査の要否を確認する」参照してください。

3.1 車両受付をする前に

車両受付をする前に、以下のチェックを行ってください。



必要な機器や書類、インターネット環境が用意されている

- 電子車検証または車検証等
- 検査用スキャンツール（AndroidOS がインストールされた端末と VCI）
- 車両



使用する端末に、アプリがインストールされている

インストール手順については、「7.12 アプリをインストールしたいとき」を参照してください。



特定 DTC 照会アプリにログインするためのユーザーID とパスワードを持っている

ユーザーID とパスワードが分からない場合は、工員／検査員の方は管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する

用途に応じて、利用するモードを選択します。次に、車両に接続する検査用スキャンツールを選択します。



ご注意

車両と検査用スキャンツールを接続する前に、アプリでこの作業を行ってください。

1. ログインする

「ユーザーID」と「パスワード」を入力して、「ログイン」を押します。



メモ

ログイン操作については、📖「2.1 ログインとログアウト」を参照してください。

2. モードを選択する

表示されているいずれかのボタンを押します。なお、表示されるモードは利用者の区分に応じて異なります。



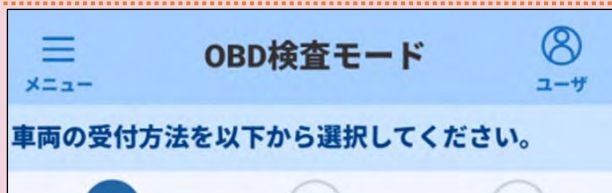
各モードの操作方法に大きな違いはありません。いずれのモードを選択しても、検査または確認の実施履歴としてシステムに記録されます。



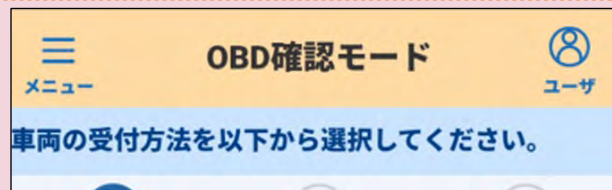
ご注意

選択するモードにより、画面上部の色が変わります。

「OBD 検査モード」を選択した場合



「OBD 確認モード」を選択した場合



以下の表を参照して、用途に応じてモードを使い分けてください。

モード	利用者	用途
OBD 検査	指定工場の検査員	法令に準拠して OBD 検査を実施する際に利用します。
OBD 確認	指定工場、認証工場の工員および検査員	点検・整備時に、OBD 検査と同等の確認（OBD 確認）を行う際に利用します。ただし、以下の条件等により実施できる項目または表示内容が異なる場合があります。 【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以降）】 • OBD 検査と OBD 確認で実施できる項目は同一です。 【OBD 検査対象車（OBD 検査適用（開始）時期以前）】 • 一部の車両において、安全関係装置の OBD が確認できません。 • 排ガス関係の OBD を確認できますが、一部の車両において DTC（コード）のみが表示され、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 【OBD 検査対象外車（J-OBD II またはディーゼル重量車 J-OBD II 規制）】 • 国際規格（OBD II）に準拠した排ガス関係の OBD を確認できますが、DTC の名称（異常内容）が表示されません。 【OBD 検査対象外車（J-OBD I 規制）】 • 「検査要否確認」および「実行」まで操作が可能ですが、通信不成立となる場合があります。 【OBD 検査対象外車（排ガス規制を受けない車両（EV、FCV 等）】 • 「検査要否確認」まで操作が可能です。「実行」の操作は行えません。

3. 検査用スキャンツールを選択する

検査用スキャンツールのメーカー名・型式等および機器（検査用スキャンツール）を選択してください。表示されるメーカーの名称と検査用スキャンツールの商品名は異なることがあるため、選択するメーカー名称および機器名が不明な場合は、ツールメーカーや販売店等にご確認ください。な

お、接続可能となる機器が 1 つの場合は、自動的に機器（検査用スキャンツール）が選択されます。
 接続可能となる機器が 2 つ以上ある場合はプルダウンリストを押して、使用する機器（検査用スキャンツール）を選択してください。



No.	項目	説明
①	メーカー	プルダウンリストで、アプリがサポートしている検査用スキャンツールのメーカー名・型式等を選択します。
②	検査用スキャンツール	プルダウンリストで、接続している検査用スキャンツールを選択します。
③	キャンセル	選択した内容を反映せず、《車両受付》画面に戻ります。



メモ

検査用スキャンツールを選択したい場合、《検査要否確認》画面、《判定結果》画面で選択ができます。



ご注意

- 選択したい検査用スキャンツールが存在しない場合、検査用スキャンツールが正しく接続されていない可能性があります。接続状況を確認後に、《車両受付》画面上の「選択」ボタンを押し、再度《検査用スキャンツール選択》画面を表示してください。それでも解決しない場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
- 選択したものと異なる検査用スキャンツールを車両に接続し検査を行った場合は、正常に作動しない可能性があります。検査用スキャンツールのメーカー名・型式等を確認のうえ、正しいスキャンツールを選択し、再度検査を実施してください。
- エラーの詳細については、📖「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

以上で、利用するモードと検査用スキャンツールの選択の操作は完了です。

続いて、📖「3.3 車両情報を入力する」に進んでください。

3.3 車両情報を入力する

《車両受付》画面で、検査を受ける車両の情報を入力します。使用する端末に搭載している機能の有無によって、以下の3つの入力方法があります。

- 端末のカメラ機能を使用して、電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る

📖 「■ 電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る場合」(P. 34) を参照

- 端末の NFC 機能を使用して、電子車検証の IC タグを読み取る

📖 「■ 電子車検証の IC タグを読み取る場合」(P. 38) を参照

- 読み取り機能を使用せず、車両情報を手入力する

📖 「■ 電子車検証または車検証等の情報を端末により入力する場合」(P. 40) を参照

車検証の情報と異なる車両で、誤って OBD 検査を実施した場合は、再度車両の受付からやり直し、正しい車両情報を入力のうえ、もう一度 OBD 検査を実施してください。

■ 電子車検証または車検証等の二次元コードを読み取る場合



ご注意

「自動読取モード」、「手動読取モード」において端末のカメラで二次元コードを読み取る際の操作方法等については各端末メーカーにお問い合わせください。なお、外部機器の二次元コードリーダーは使用できません。

1. 「車検証二次元コード読取」を押す



2. 読取モードを選び、読取開始ボタンを押す



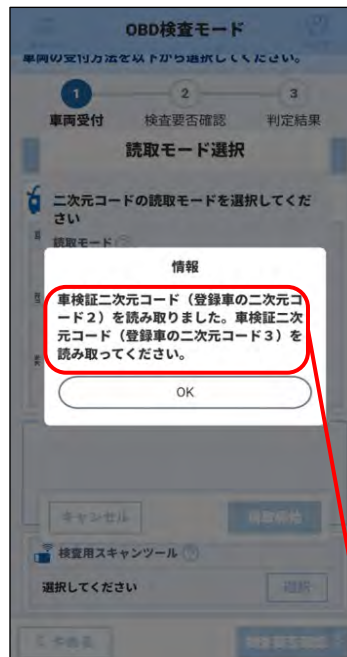
メモ

読取モードには以下のような違いがあります。

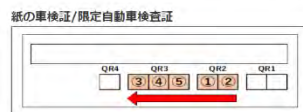
- 自動読取モード：特定 DTC 照会アプリ【Android】で定義された読取モード。電子車検証または車検証等の二次元コードを連続的に読み取る場合に選択します。
- 手動読取モード：特定 DTC 照会アプリ【Android】で定義された読取モード。電子車検証または車検証等の二次元コードを一つずつ読み取る場合に選択します。

3. 二次元コードを読み取る

電子車検証または車検証等に記載された「二次元コード 2」(QR2)、「二次元コード 3」(QR3) の読み取り順序に制限はありません。



①② (QR 2)、③④⑤ (QR 3) の二次元コードを読み取ります。



読み取った二次元コードのコード名が表示されます。



メモ

自動車予備検査証、限定自動車検査証から車両情報を読み取る場合

- 電子車検証または車検証と同じ順に読み取ります。

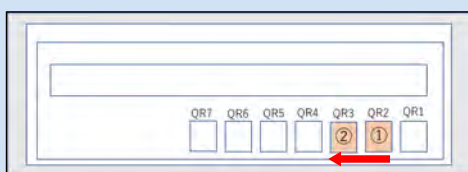
登録識別情報等通知書（登録車）から車両情報を読み取る場合

- ①② (QR 2)、③④⑤ (QR 3) の二次元コードを読み取ります。



自動車検査証返納証明書（軽自動車）から車両情報を読み取る場合

- ① (QR 2)、② (QR 3) の二次元コードを読み取ります。

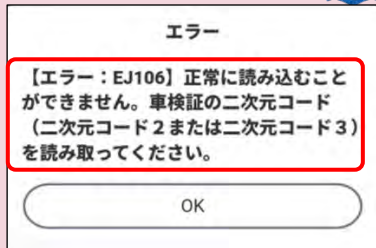


**ご注意**

以下のような原因で読み取りに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。
メッセージに従って、操作をやり直してください。

- 端末のカメラの起動に失敗した場合
- 二次元コード 2、3 以外の二次元コードを読み取った場合
- 登録車と軽自動車の二次元コードを混在させて読み取った場合

エラーの詳細については、 「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

**メモ**

二次元コードがうまく読み取れない場合は、電子車検証または車検証等の情報を端末により手入力することもできます。詳細については、 「■電子車検証または車検証等の情報を端末により入力する場合」(P. 40)を参照してください。

読み取った車両情報が登録されると《車両受付》画面に戻ります。

以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「電子車検証または車検証等二次元コード読取」の場合）の操作は完了です。

次の操作を行う場合

「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

読み取りをやり直したい場合

再度、手順 1. から始めてください。

■ 電子車検証の IC タグを読み取る場合



ご注意

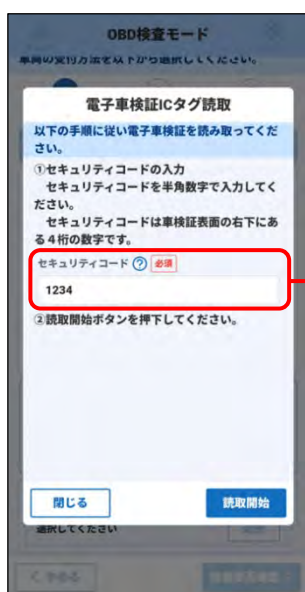
外部機器の IC タグリーダーは使用できません。

1. 「電子車検証 IC タグ読取」を押す



2. セキュリティコードを入力する

電子車検証の右下に記載されている 4 桁の数字を入力します。



3. 「読取開始」を押し、端末を電子車検証に近づける



メモ

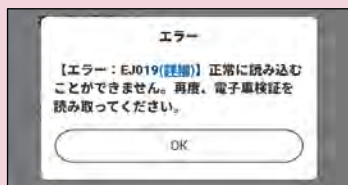
電子車検証がうまく読み取れない場合は、電子車検証の情報を端末により入力することもできます。詳細については、📖「■電子車検証または車検証等の情報を端末により入力する場合」(P. 40)を参照してください。



ご注意

- 金属製のものが近くにある場合、電子車検証がうまく読み取れないことがあります。
- 読み取りに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、操作をやり直してください。

エラーの詳細については、📖「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。



読取が完了すると、以下のように車両情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「電子車検証 IC タグ読取」の場合）の操作は完了です。

次の操作を行う場合

📖 「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

読み取りをやり直したい場合

再度、手順 1. から始めてください。

■ 電子車検証または車検証等の情報を端末により入力する場合

1. 「車両情報手入力」を押す

端末のカメラや、NFC 機能を使用しない場合はこちらを選択してください。



2. 車両情報を入力する

電子車検証または車検証等の記載内容を、入力または選択します。



No.	項目	説明
①	車台番号	車台番号を半角英数・記号（「-」半角ハイフン）で入力します。車台番号に漢字が含まれている場合は、「職権打刻」を押して入力します。職権打刻の入力方法については、  「7.5 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）」を参照してください。
②	型式	プルダウンリストで空白が選択された状態で、型式を半角で入力します。改造車などの場合は、プルダウンリストで以下のいずれかを選択します。 試作／組立／不明／改
③	燃料の種類	プルダウンリストから燃料の種類を選択します。
④	初度登録年月または初度検査年月	「あり」が選択された状態で、初度登録年月または初度検査年月（軽自動車の場合）を半角数字で入力します。 記載がない場合は、「なし」を選択します。
⑤	類別区分番号	電子車検証または車検証等の類別区分番号を入力してください。改造車の場合は、電子車検証または車検証等の備考欄に記載されている類別区分番号の値を入力してください。 記載がない場合は、「なし」を選択してください。
⑥	閉じる	入力または選択した内容を反映せず、《車両受付》画面に戻ります。



メモ

車台番号および型式はすべて大文字に変換されるため、大文字と小文字どちらで入力しても構いません。

電子車検証（普通車の場合）での各項目の記載位置は、以下のとおりです。

なお、車検証等や軽自動車の車検証では記載位置が異なります。

④ 初度登録年月または初度検査年月

② 型式 ① 車台番号 ③ 燃料の種類 ⑤ 類別区分番号

3. 「確定」を押す

OBD検査モード

車両の受付方法を以下から選択してください。

車両情報手入力

車検証を確認のうえ、受検車両の情報を入力してください。

車台番号 (必須) 機能打刻

型式 (必須) 改造車等

燃料の種類 (必須)

初度登録年月または初度検査年月 (必須)

☐ なし ☒ あり 令和 5 年 12 月

類別区分番号 (必須)

☐ なし ☒ あり 0001

閉じる 確定

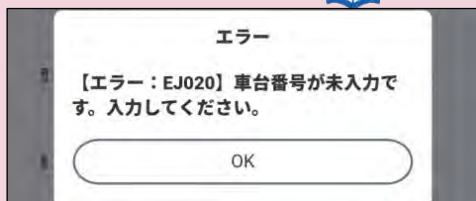
選択してください 選択してください

< 戻る 戻るを再確認 >

**ご注意**

入力に不備がある場合、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って、入力をやり直してください。

エラーの詳細については、📖「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。



入力した車両情報が登録されると《車両受付》画面に戻ります。

以下のように、入力した情報が反映されます。



以上で、車両情報の入力（「車両情報手入力」の場合）の操作は完了です。

次の操作を行う場合

📖「4 OBD 検査要否確認を行う」に進みます。

入力をやり直したい場合

再度、手順 1. から始めてください。

4 OBD 検査要否確認を行う

車両受付が完了したのち、OBD 検査が必要かどうかをアプリで確認します。



メモ

OBD 検査の対象となる車両の電子車検証には、「OBD 検査対象」などの記載がありますが、これらの表示がある場合でも法令等で定められた条件により OBD 検査を実施しなくてもよい場合があります。そのため、OBD 検査対象車には、アプリを使用して「OBD 検査要否確認」を行ってください。

4.1 OBD 検査の要否を確認する



メモ

インターネット通信の状況によって、確認に時間がかかる場合があります。

1. 車両受付が完了した後、「検査要否確認」を押す



OBD 検査の要否確認が開始されます。

以下の画面が表示された場合は、画面に従って車両の情報を入力してください。

- 《車名選択》画面が表示された場合 (P.45)
- 《車両 ID 入力》画面が表示された場合 (P.45)
- 《その他燃料選択》画面が表示された場合 (P.46)

《車名選択》画面が表示された場合

対象の車両を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等に記載されている車名をプルダウンリストから選択して、「確定」を押してください。

車名選択

車名を選択してください。

選択してください

閉じる

確定

検査する車両の車名を選択します。

選択した車名を確定して画面を閉じます。

車名を確定せず画面を閉じます。
要否確認はできません。

《車両 ID 入力》画面が表示された場合

対象の車両 ID を特定できない場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証に記載されている車両 ID を入力して、「確定」を押してください。

車両ID入力

検査に必要な項目が特定できません。
電子車検証の券面を確認し、車両IDを入力してください。

必須

閉じる

確定

検査する車両の車両 ID を入力します。

入力した車両 ID を確定して画面を閉じます。

車両 ID を確定せず画面を閉じます。
要否確認はできません。

車両 ID は、電子車検証の左下（欄外）に記載されています。

自動車検査証

令和 4 年 12 月 1 日

東京運輸支局長 411230000011

東京 310 お 1001 令和 4 年 12 月 普通 乗用 1 台用 98765 0001

コクドコウツウ

SHADA1-001

ZXX-ABC99

ARC-3DE

750

600

1350

1625

448

173

149

国土 交通

備 考

OBD検査対象、ハイブリット車、平成28年騒音M1A2A 72dB 2,500rpm (旧) 2,500rpm、マフラー加速適用

1202301A00001

国土交通省

Sample

《その他燃料選択》画面が表示された場合

その他燃料の情報追加が必要な場合、以下の画面が表示されます。

電子車検証または車検証等の「燃料の種類」や「備考」欄に記載されている燃料をすべてチェックして、「確定」を押してください。

The screenshot shows the 'その他燃料選択' (Other Fuel Selection) screen. It contains a list of fuel types with checkboxes: Gasoline (ガソリン), LPG, Light Oil (軽油), CNG, and None (該当なし). Below the list are two buttons: '閉じる' (Close) and '確定' (Confirm). Callouts provide instructions: 'Use all fuels used to check.' (使用される燃料すべてにチェックを付けます。), 'Confirm the selected fuel and close the screen.' (選択した燃料を確定して画面を閉じます。), and 'Close the screen without confirming the fuel. Confirmation is not possible.' (燃料を確定せず画面を閉じます。要否確認はできません。)

2. 結果を確認する

入力内容が問題なければ、《車両受付》画面から《検査要否確認》画面に遷移します。

The screenshot shows the '検査要否確認' (Check Necessity Confirmation) screen. It displays vehicle information: Vehicle Number (ZZZ-1234567), Model (3BA-ZZZ01), and Fuel Type (Gasoline). Below this, there is a red box with the text 'OBD検査が必要です' (OBD Check is required). At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back) and '実行' (Execute).

検査要否確認の結果は、以下のいずれかが表示されます。

結果	説明
OBD 検査が必要です	OBD 検査を実施する必要があります。
OBD 検査が不要です	OBD 検査を実施する必要がなく、検査はできません。
OBD 検査不可です	OBD 検査に必要な車両情報が存在しない場合に表示されます。OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

OBD 検査要否の結果に応じて、以下の操作を行ってください。

「OBD 検査が必要です」の表示がある場合

 「5 OBD 検査を行う」に進んでください。

「OBD 検査が不要です」の表示がある場合

これ以上の操作は必要なく、OBD 検査は終了です。ただし、以下の操作は実施できます。

- OBD 検査要否確認結果の帳票（PDF ファイル）や CSV ファイルのダウンロード

 「6.2 OBD 検査結果を保存する」を参照

- 関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧

 「4.2 関連情報を確認する」を参照

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。

- 詳細については、 「検査種別」(P.9) を参照してください

メモ

「OBD 検査が不要です」となった場合、結果欄の下に OBD 検査開始日が表示されます。



「OBD 検査不可です」の表示がある場合

OBD 検査モードの場合は、これ以上の操作はできません。OBD 検査対象車であって、初度登録年月または初度検査年月から 10 か月経過していて、かつ車検証に記載（電子車検証の場合は IC タグ情報に格納）されている OBD 検査開始年月日が過ぎているにもかかわらず「OBD 検査不可」と表示される場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

なお、OBD 確認モードの場合は、そのまま OBD 確認に進める場合があります。ただし、画面の上部にエラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従ってください。

また、OBD 検査を終了しても、関連情報や過去の OBD 検査実施履歴情報の閲覧は可能です。

詳細については、 「4.2 関連情報を確認する」を参照してください。

ご注意

エラーの詳細については、 「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。

4.2 関連情報を確認する

車両について、以下の関連情報を確認できます。



メモ

関連情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- データリンクコネクタの位置



「■データリンクコネクタの位置を確認する」(P. 48) を参照

- 過去の OBD 検査実施履歴



「■過去の OBD 検査実施履歴を確認する」(P. 50) を参照

■データリンクコネクタの位置を確認する

1. 「データリンクコネクタ位置」ボタンを押す

2. 詳細を確認する

接続端子を挿入する角度・向きなどを確認できます。

The screenshot shows a screen titled "データリンクコネクタ位置表示" (Data Link Connector Position Display). It has two tabs at the top: "左ハンドル" (Left Steering Wheel) and "右ハンドル" (Right Steering Wheel). The main content area is divided into sections: "ハンドル画像" (Steering Wheel Image) showing a car interior with a red dot on the steering wheel; "角度・向き" (Angle/Direction) showing a diagram of the connector with an arrow indicating the insertion direction and the text "(カバー有り)" (Cover present); "参考画像" (Reference Image) showing a close-up of the connector with a magnifying glass icon; and "説明" (Description) showing placeholder text "補足文 左 xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxx". At the bottom, there is a page indicator "1 2 3 4 5" and a "閉じる" (Close) button.

左右ハンドルの情報がある場合、タブを押して切り替えられます。

データリンクコネクタの参考画像が表示されます。

虫眼鏡のアイコン を押すと画像が拡大表示されます。なお、表示されるのは端末の縦画面のみです。

データリンクコネクタの説明文が表示されます。

この画面を閉じます。

データリンクコネクタの角度・向きがイラストで表示され、カバーの有無が表示されます。

データリンクコネクタの位置が、赤色のマーカーで表示されます。

情報が複数ページある場合、 を押して、ページを切り替えます。

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。

■過去の OBD 検査実施履歴を確認する

検査要否確認が完了すると、自らの事業場での実施にかかわらず過去に OBD 検査または OBD 確認を実施した履歴がある車両については、「OBD 実施履歴」が押せるようになります。

1. 「OBD 実施履歴」を押す



2. 内容を確認する

判定日時が表示されます。

判定日時が表示されます。

過去 5 年分、最大 30 件が表示されます。

OBD 検査は「検査」、OBD 確認は「確認」と表示されます。

No	判定日時	検査/確認	判定結果
1	2022/05/24 03:37	確認	適合
2	2022/05/25 04:47	検査	不適合
3	2022/05/26 05:50	確認	適合
4	2022/05/26 18:37	確認	不適合
5	2022/07/02 03:37	検査	適合

判定結果が「適合」「不適合」で表示されます。

この画面を閉じます。

確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。

4.3 その他参考情報を確認する

受付した車両の参考情報を確認することができます。



メモ

その他参考情報の確認は、OBD 検査に必須ではありません。必要に応じて確認してください。

- 諸元表



「■ 諸元表を確認する」(P. 51) を参照

- リコール情報



「■ リコール情報を確認する」(P. 52) を参照

■ 諸元表を確認する

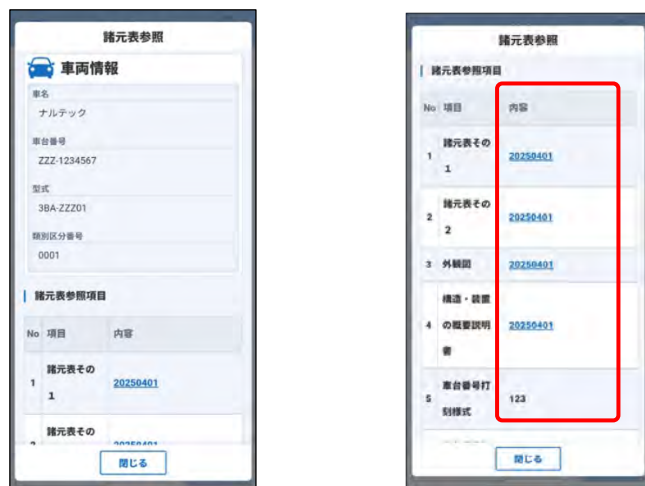
検査要否確認が完了すると、「諸元表」が押せるようになります。

1. 「諸元表」を押す



2. 内容を確認する

入力した型式の諸元情報が表示されます。「内容」欄に届出年月日のリンクがある場合は、該当する諸元表の PDF ファイルをダウンロードできます。



確認が終了したのち、「閉じる」を押して画面を閉じます。《検査要否確認》画面もしくは《判定結果》画面に戻ります。



メモ

平成 14 年以降の型式指定自動車であり、かつ自動車製作者等により諸元表情報が登録されている車両については、諸元表を閲覧することが可能です。ただし、すべての情報を網羅しているわけではないため、参考情報としてご利用ください。

■ リコール情報を確認する

検査要否確認が完了し、車名コードが特定できる場合に、「リコール情報」のボタンが押せるようになります。

1. 「リコール情報」を押す



2. リコール情報を確認する

対象車両のリコール届出をした自動車製作者等のホームページが、別タブで表示されます。

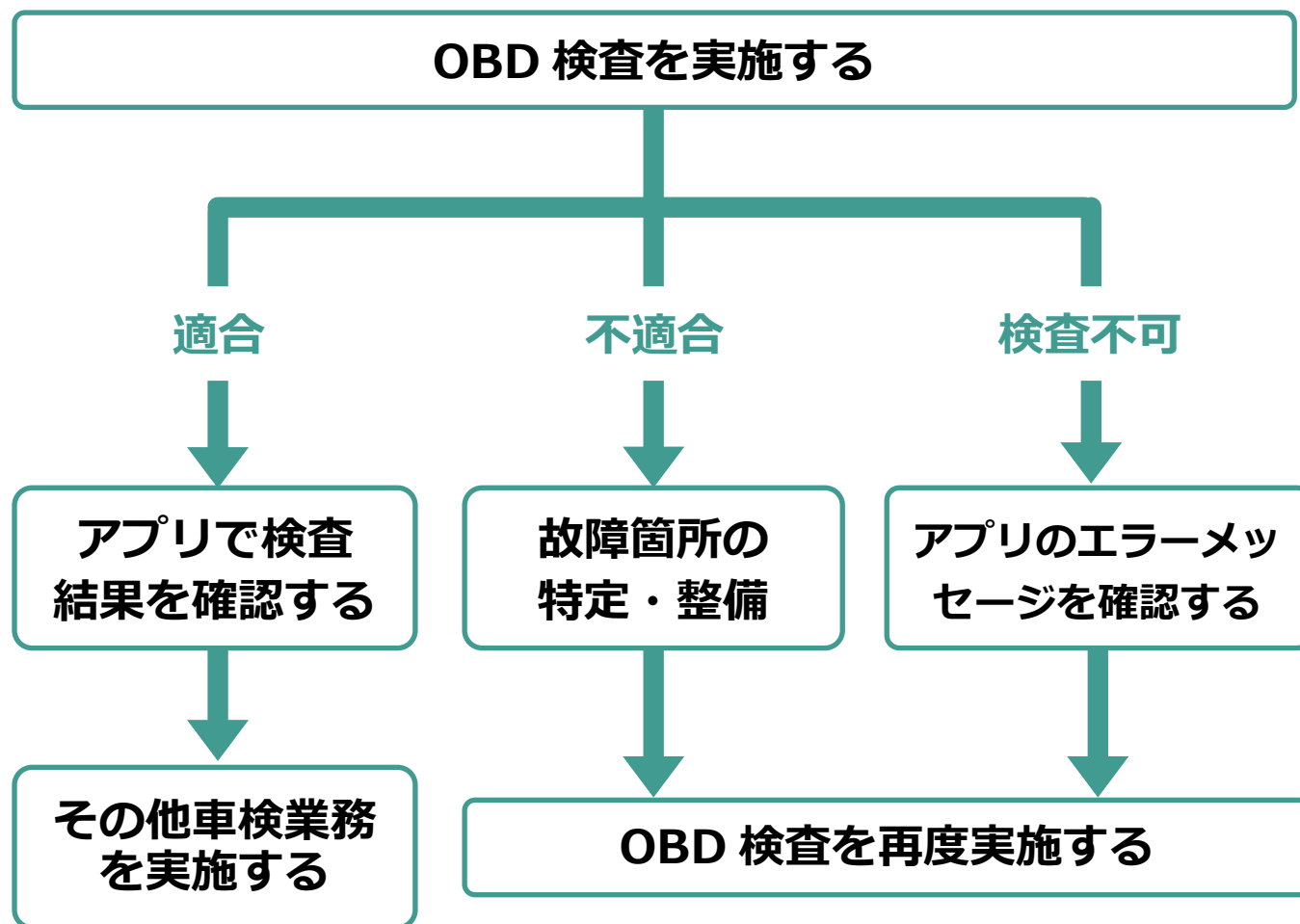
確認が終了したら、タブを閉じて《検査要否確認》画面もしくは《判定結果》画面に戻ります。

5 OBD 検査を行う



ご注意

- OBD 検査と OBD 確認で基本的な操作手順は同じです。必要に応じて、「OBD 検査」と記載している箇所を「OBD 確認」に読み替えてください。
- OBD 検査要否確認で、OBD 検査不要と表示された場合に OBD 確認を行いたい場合は OBD 確認モードを利用してください。モード選択で「OBD 確認」を選択して、車両受付から行ってください。詳細については、📖「3.2 モード・検査用スキャンツールを選択する」を参照してください。
- ネットワークエラーが発生した場合は、エラーメッセージが表示されます。メッセージに従って接続環境を確認し、初めから操作を行ってください。
エラーの詳細については、📖「9.2 エラーメッセージと対処方法」を参照してください。



5.1 OBD 検査を実施する



ご注意

検査用スキャンツールを接続する前に、車両の電源が OFF であることを確認してください。

検査要否確認の結果が「OBD 検査が必要です」の場合、アプリの画面に「エンジンを ON (ハイブリッド車等は READY) にして、「実行」ボタンを押してください。」というメッセージが表示されます。



1. 車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する



メモ

データリンクコネクタの位置や向きなどが分からないときは、「**データリンクコネクタの位置を確認する**」(P. 48) を参照してください。



ご注意

検査用スキャンツールの接続端子は、車両のデータリンクコネクタに奥までしっかり挿入してください。

2. 車両の原動機を始動する（ハイブリッド車、電気自動車は READY にする）



ご注意

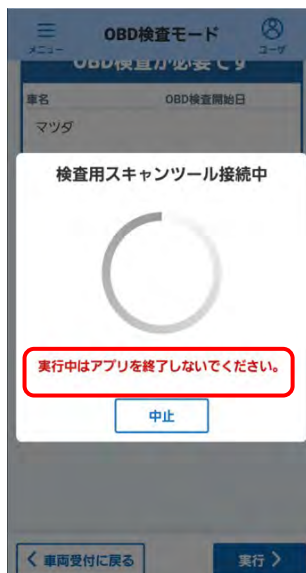
原動機を始動していない状態（キースイッチが ON または OFF など）で OBD 検査を実施した場合は、検査の結果にかかわらず、原動機を始動した状態で再度検査を行う必要があります。

3. 《検査要否確認》画面で、「実行」を押す



ご注意

OBD 検査実施中は検査用スキャンツールの接続端子が抜けないように注意してください。途中で抜けてしまった場合は、再度「1. 車両のデータリンクコネクタに、検査用スキャンツールの接続端子を接続する」からやり直してください。



「実行」ボタンを押した後に実行中画面がポップアップ表示され、「実行中はアプリを終了しないでください。」というメッセージが表示されます。



メモ

- OBD 検査の完了に要する時間は、ネットワーク回線や車種の違いなどの環境により異なります。
- 検査を中断する場合は、「中止」を押します。



検査が完了すると、検査結果が表示されます。

4. 検査結果を確認する

表示されたメッセージと検査結果（適合／不適合）を確認します。



メッセージに従って、操作を行ってください。

検査結果	説明	表示されるメッセージ
適合	OBD 検査に適合です。	処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。  メモ 車両から取得した VIN（車両識別番号）が表示されますので、参考としてください。 （「-（ハイフン）」は除いて表示）
不適合	OBD 検査に不適合です。表示される不適合結果内容を参考に、必要な点検・整備を実施してください。	処理を終了します。イグニッションを OFF にして、検査用スキャンツールを取り外してください。 車両との通信ができませんでした。（詳細）エンジンの作動状況や検査用スキャンツールの差込状況を確認してください。このメッセージの詳細な操作は、 「7.15 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき」を参照してください。  メモ 車両から取得した VIN（車両識別番号）が、表示されますので参考としてください。 （「-（ハイフン）」は除いて表示）

検査不可	エラーが発生し、OBD 検査を正常に実施できていません。表示されるメッセージを確認し、再度 OBD 検査を実施する必要があります。	メッセージの例： 受検車両との通信でエラーが発生しました。検査用スキャンツールの接続を確認のうえ、再度、「実行」を押してください。
------	---	--



メモ

- 検査用スキャンツールを取り外すときは、イグニッションが OFF になっていることを確認してください。
- 現在故障のみを特定 DTC として検出するため、過去の故障履歴があっても OBD 検査結果に影響を与えることはありません。
- 以下のメッセージが表示された場合、データリンクコネクタとスキャンツールを接続し直して検査を再実施していただくことで車両識別番号を取得できることがあります。常にこのメッセージが表示される場合はコールセンターにお問合せください。

正常に車両識別番号を取得できませんでした。(詳細)

判定結果および必要に応じて、以下の操作を行ってください。

検査中にポップアップで《警告灯判定》画面が表示された場合

📖 「5.2 警告灯判定画面が表示された場合」を参照してください。

OBD 検査結果の詳細を確認したい場合

📖 「6 OBD 検査結果を確認する」を参照してください。

次の車両の OBD 検査を行う場合

「次の車両受付を行う」を押して、《車両受付》画面に戻ります。引き続き次の車両の検査受付ができます。📖 「3 車両受付をする」を参照してください。



同じ車両の OBD 検査を行う場合

「戻る」を押して、《検査要否確認》画面に戻ります。再度 OBD 検査を実施してください。



検査を終了する場合

左上のメニューからログアウトを押して終了します。📖 「■アプリからログアウトして終了する」(P. 22) を参照してください。

5.2 警告灯判定画面が表示された場合

改造自動車の改造内容によって排ガス規制の適用が変わった場合、または安全系の OBD 検査対象装置との通信ができなかった場合は、警告灯判定画面が警告メッセージで表示されることがあります。画面の表示に従って運転者席の警告表示を確認し、合否判定を行ってください。

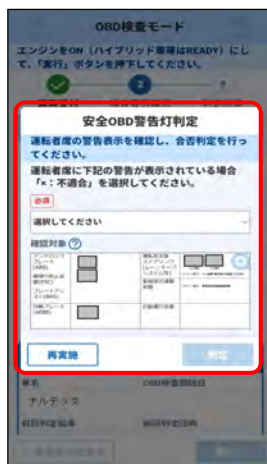
《排ガス OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



※実際の画面とは異なる場合があります。

上記の画面が表示された場合、📖「■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合」(P. 59) を参照してください。

《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示された場合



※実際の画面とは異なる場合があります。

上記の画面が表示された場合、📖「■安全 OBD 警告灯判定が表示された場合」(P. 60) を参照してください。

■排ガス OBD 警告灯判定が表示された場合

運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 排ガスに関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 排ガスに関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。

警告表示を確認し、以下のどちらかを選択します。

○：適合
×：不適合

虫眼鏡のアイコンを押すと画像が拡大表示されます。なお、表示されるのは端末の縦画面のみです。

確認する警告表示の画面や説明が表示されます。

判定を行わずに画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。



注意

OBD 検査はまだ終わっていません。

適合または不適合の判定を確定して画面を閉じます。

※実際の画面とは異なる場合があります。



メモ

「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。

■ 安全 OBD 警告灯判定が表示された場合

安全系の OBD 検査対象装置との通信ができなかった場合、《安全 OBD 警告灯判定》画面が表示されます。運転者席の警告表示を目視により確認して、以下の判定を行ってください。

- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされている場合は、**不適合**と判定します。
- 安全系の OBD 検査対象装置に関連する警告表示がされていない場合は、**適合**と判定します。

安全OBD警告灯判定

運転者席の警告表示を確認し、可否判定を行ってください。

運転者席に下記の警告が表示されている場合「×：不適合」を選択してください。

必須

選択してください

確認対象 ?

アンチロックブレーキ (ABS) 横滑り防止装置 (ESC) ブレーキアシスト (BAS) 自動ブレーキ (AEB)	運転者支援ステアリング (レーンキープシステム等) 車両位置通報装置 自動運行装置
--	--

再実施

終了

警告表示を確認し、以下のどちらかを選択します。

○：適合

×：不適合

虫眼鏡のアイコン を押すと画像が拡大表示されます。なお、表示されるのは端末の縦画面のみです。

確認する警告表示の画面や説明が表示されます。

判定を行わずに画面を閉じます。《検査要否確認》画面に戻ります。



ご注意

OBD 検査はまだ終わっていません。

適合または不適合の判定を確定して画面を閉じます。



メモ

「判定」は、「○：適合」または「×：不適合」を選択した後に押せるようになります。

6 OBD 検査結果を確認する

OBD 検査結果が「適合」または「不適合」になった場合、検査結果の詳細を確認して、帳票や CSV ファイルに出力できます。

使用した検査用スキャンツールの詳細情報を確認したい場合は、📖「7.14 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき」を参照してください。



メモ

「結果詳細表示」により表示されている各項目の可否の条件につきましては、法令により規定されております。詳細な規定をご覧になりたい場合は以下によりご確認ください。

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（別添 124 「継続検査等に用いる車載式故障診断装置の技術基準」）

参照先（国土交通省）：https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr7_000007.html



ご注意

- 「OBD 検査」と「OBD 確認」の操作手順に大きな違いはありません。本マニュアルでは、OBD 検査の画面と操作手順を説明しています。必要に応じて「OBD 検査」と記載している箇所を「OBD 確認」に読み替えてご利用ください。
- OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する

1. OBD 検査が終了した後、「結果詳細表示」を押す



《OBD 検査結果詳細》画面が表示されます。

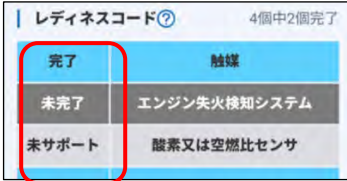
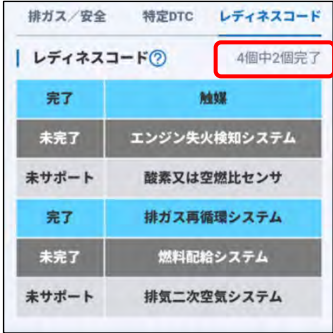
2. 内容を確認する



※上図は不適合の場合の画面例です。

No.	項目	説明																		
①	判定結果	適合／不適合のいずれかが表示されます。																		
②	排ガス	排ガス OBD の種別（「J-OBD II または WLTP-OBD」、「ディーゼル重量車 J-OBD II」、「J-OBD I または WLTP-OBD」、「適用なし」のいずれか）が表示されます。 排ガス (J-OBDIIまたはWLTP-OBD) 各項目の適否（合否）と、状態の一覧が表示されます。合否は「○」「×」で表示され、基準が適用されない場合は「－」が表示されます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">排ガス (J-OBDIIまたはWLTP-OBD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧</td> <td>○</td> <td>12.3V</td> </tr> <tr> <td>MIL</td> <td>○</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>レディネス</td> <td>○</td> <td>適合</td> </tr> <tr> <td>通信</td> <td>○</td> <td>成立</td> </tr> <tr> <td>特定DTC</td> <td>×</td> <td>不適合</td> </tr> </tbody> </table>	排ガス (J-OBDIIまたはWLTP-OBD)			電圧	○	12.3V	MIL	○	OFF	レディネス	○	適合	通信	○	成立	特定DTC	×	不適合
排ガス (J-OBDIIまたはWLTP-OBD)																				
電圧	○	12.3V																		
MIL	○	OFF																		
レディネス	○	適合																		
通信	○	成立																		
特定DTC	×	不適合																		
	電圧	電圧値の合否が表示され、車両から取得した電圧値が表示されます。																		
	MIL	MIL の合否が表示され、状態が「ON」「OFF」「－」で表示されます。																		
	レディネス	レディネスコードの合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「－」で表示されます。																		
	通信	通信（排ガス関連装置）の合否が表示され、状態が「成立」「不成立」「－」で表示されます。																		
	特定 DTC	特定 DTC（排ガス関連装置）の合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「－」で表示されます。																		

No.	項目	説明																								
③	安全	安全関連装置の基準への適否（合否）と、状態の一覧が表示されます。 合否は「○」「×」で表示され、基準が適用されない場合は「－」が表示されます。 安全 <table><tr><td>通信</td><td>○</td><td>成立</td></tr><tr><td>特定DTC</td><td>×</td><td>不適合</td></tr></table>	通信	○	成立	特定DTC	×	不適合																		
	通信	○	成立																							
	特定DTC	×	不適合																							
通信	通信（安全関連装置）の合否が表示され、状態が「成立」「不成立」「－」で表示されます。																									
特定 DTC	特定 DTC（安全関連装置）の合否が表示され、状態が「適合」「不適合」「－」で表示されます。																									
④	特定 DTC	特定 DTC とその件数が表示されます。表示件数（6 件）を超える場合のみ「残りを全て見る」リンクを押すと、すべての特定 DTC が表示されます。 排ガス／安全 特定DTC レディネスコード 特定DTC 全1000件 <table><thead><tr><th>No</th><th>区分</th><th>ECU名称等</th><th>コード／名称</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td><td>0 0 0 2</td></tr><tr><td>3</td><td>安全</td><td>ABSECU</td><td>C234567 ABS異常</td></tr><tr><td>4</td><td>安全</td><td>AVASECU</td><td>C456789 スピーカー断線</td></tr><tr><td>5</td><td>安全</td><td>ADASECU</td><td>C567890 エーミング未完了</td></tr><tr><td>6</td><td>安全</td><td>ADASECU</td><td>C678901 カメラモジュール異常</td></tr></tbody></table> 残りを全て見る 「■ 特定 DTC の一覧を確認する」（P. 65）を参照してください。	No	区分	ECU名称等	コード／名称				0 0 0 2	3	安全	ABSECU	C234567 ABS異常	4	安全	AVASECU	C456789 スピーカー断線	5	安全	ADASECU	C567890 エーミング未完了	6	安全	ADASECU	C678901 カメラモジュール異常
No	区分	ECU名称等	コード／名称																							
			0 0 0 2																							
3	安全	ABSECU	C234567 ABS異常																							
4	安全	AVASECU	C456789 スピーカー断線																							
5	安全	ADASECU	C567890 エーミング未完了																							
6	安全	ADASECU	C678901 カメラモジュール異常																							

No.	項目	説明
⑤	レディネスコード	- 取得したレディネスコードがパネルと色で表示されます。 (完了 : 青色、未完了 : 灰色、未サポート : 白色)  メモ 車両に搭載されていないセンサ、システムは、「未サポート」と表示されます。 - レディネスコードのサポート数 (○) と完了数 (△) が、「○個中△個完了」と表示されます。なお、排ガス OBD 種別が J-OBD I で、かつ取得できるレディネスコードがない場合は、「取得できるレディネスコードはありません。」と表示されます。 
⑥	結果詳細 CSV 出力	検査結果を CSV ファイルに出力します。  「■ CSV 出力する」(P72) を参照してください。
⑦	帳票 PDF 出力	検査結果を帳票 (PDF) に出力します。  「■ 帳票 (PDF) に出力する」(P. 66) を参照してください。



メモ

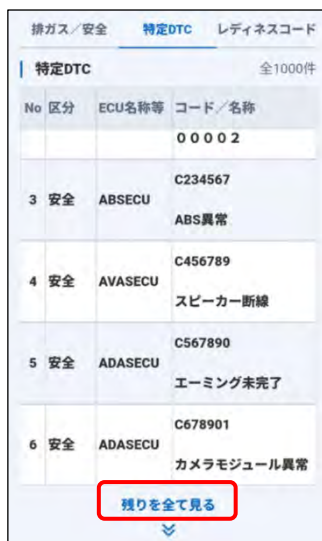
警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に「※警告灯判定結果」と表示されます。

検査結果の内容を確認後、必要に応じて、 「6.2 OBD 検査結果を保存する」に進みます。

■ 特定 DTC の一覧を確認する

《OBD 検査結果詳細》画面に表示しきれなかった特定 DTC を確認する場合は、一覧で確認できます。

1. 《OBD 検査結果詳細》画面で「残りを全て見る」を押す



特定 DTC のすべての一覧を表示されます。

2. 一覧を確認する



確認が終了したのち、「閉じる」を押して、《判定結果》画面に戻ります。

6.2 OBD 検査結果を保存する

OBD 検査の結果を PDF 形式または CSV 形式でダウンロードすることができます。右上側のメニューからダウンロード一覧に表示されます。なお、ファイルの保存は、本アプリ上ではできません。

- PDF 形式で保存したファイルは、結果帳票として出力して自動車使用者の方に渡す場合などに使用できます。

 「■帳票（PDF）に出力する」（P. 66）

- CSV 形式で保存したファイルは、外部システムに取り込むときなどに使用できます。詳細については、外部システムの問い合わせ先にご連絡ください。

 「■CSV 出力する」（P.73）



- OBD 検査を実施していない車両でも、検査要否確認を実施した場合は、OBD 検査結果ファイルを保存することができます。
 - OBD 検査を実施した場合は OBD 検査結果参照システムと本アプリの《OBD 検査結果参照》画面でも、同じ OBD 検査結果ファイルを出力できます。
- 詳細は、 『OBD 検査結果参照システム 操作マニュアル』を参照してください。
- OBD 検査結果を参照したいときは、 「7.7 OBD 検査結果を参照したいとき」を参照してください。

■帳票（PDF）に出力する

《OBD 検査結果詳細》画面、または《判定結果》画面で「帳票 PDF 表示」を押す



端末にインストールされている PDF が表示できるアプリを起動します。



ご注意

出力に数秒時間を要します。連続で「帳票 PDF 表示」を押さないでください。

なお、右上側のメニューから「ファイル参照」で確認できます。



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_ [車台番号].pdf」という名前の PDF ファイルが保存されます。



メモ

ファイル名の「yyymmdd」は年月日、「hhmmss」は時間を示しています。

例) 車台番号「ZZZ-1234567」の車両で、2024 年 12 月 03 日 14 時 01 分 12 秒に OBD 検査を実施した場合のファイル名は、以下となります。
OBDRESULT_20241203140112_[ZZZ-1234567].pdf



ご注意

上記の  「帳票 PDF 表示」、 「帳票 PDF 表示」を押しても、端末のストレージなどアプリ終了後にも参照可能となるよう、自動で保存されません。表示された PDF ファイルを保存する場合は、閲覧可能なアプリを別途インストールして、保存操作を行ってください。



**自動車使用者の方へ
OBD検査結果のお知らせ**

5

■受検車両・受検場所の情報

受 検 日	車 台 番 号	型 式	登録番号 / 車両番号
2024年(令和6年)12月03日	ZZZ-1234567	3BA-ZZZ01	1001 / 0300
事業場の名称			指定番号 / 認証番号
OBDモーターズ港支店			0123

※登録番号/車両番号は下4桁のみの印字です。

1

自動車検査におけるOBD検査結果をお知らせする旨のメッセージを表示

2

■OBD検査情報

検査結果	不適合
------	-----

3

■OBD検査結果詳細
排出ガス関係係数

項目	検査結果	
電圧	○	12.1V
MIL	○	OFF
レディネス	○	適合
通信	○	成立
特定DTC	○	適合

安全関係係数

項目	検査結果	
通信	○	成立
特定DTC	x	不適合

4

■特定DTC

全7件中7件表示

順番	区分	ECU名称等	コード	名称
1	安全	ANZEN-2	B0001	安全DTC名 B0001
2	安全	ANZEN-2	B0002	安全DTC名 B0002
3	安全	ANZEN-2	B0003	安全DTC名 B0003
4	安全	ANZEN-2	B0004	安全DTC名 B0004
5	安全	ANZEN-2	B0005	安全DTC名 B0005
6	安全	ANZEN-2	B0006	安全DTC名 B0006
7	安全	ANZEN-2	B0007	安全DTC名 B0007

(以降省略)

※検査の正確内容について詳細は以下のホームページをご参照ください。

「OBD検査システムポータルサイト OBD検査結果開示について」



No.	項目	説明
①	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
②	メッセージ	自動車検査に関するメッセージが出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。 特定 DTC は最大 7 件が表示されます。7 件以上ある場合は、OBD 検査結果参照システムにて検査結果を確認してください。
⑤	タイトル	OBD 確認を実施した際も「OBD 検査結果のお知らせ」と表示されず。



警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に“※警告灯判定結果”と表示されます。



OBID 検査対象外車両であった場合は、後日 OBID 検査結果参照システムで帳票 PDF は出力できません。

■ CSV 出力する

《OBD 検査結果詳細》画面、または《判定結果》画面で「結果詳細 CSV 出力」を押す。



端末にインストールされている CSV ファイルが表示できるアプリを起動します。

！ ご注意

出力に数秒時間を要します。連続で「結果詳細 CSV 出力」を押さないでください。

なお、右上側のメニューから「ファイル参照」で確認できます。



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD 検査結果の CSV ファイルが保存されます。

メモ

ファイル名の「yyymmdd」は年月日、「hhmmss」は時間を示しています。

例) 事業場 ID「1234567」車台番号「ZZZ-1234567」の車両で、2024 年 12 月 03 日 14 時 01 分 12 秒に OBD 検査を実施した場合のファイル名は、以下となります。

OBDRESULT_20241203140112_[1234567]_[ZZZ-1234567].csv

！ ご注意

上記の「結果詳細 CSV 出力」を押しても、端末のストレージには自動で保存されません。表示された CSV ファイルを保存する場合は、閲覧専用アプリを別途インストールして、保存操作を行ってください。

7 こんなときは

7.1 ユーザーID またはパスワードを忘れたとき

ユーザーID またはパスワードを忘れたときは、管理責任者または統括管理責任者にお問い合わせください。初回ログイン済み（パスワード変更済み）の場合は、管理責任者または統括管理責任者によりパスワードのリセットを行う必要があります。



ご注意

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

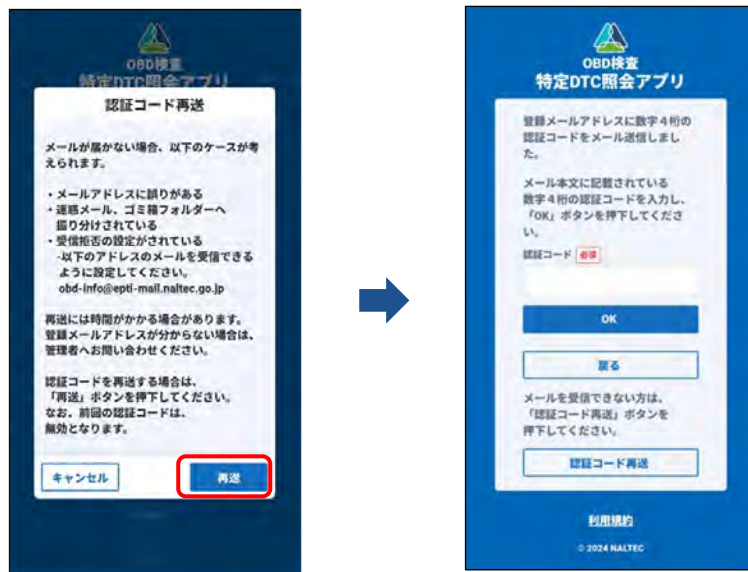
7.2 認証コードが届かないとき

認証コードが 15 分経っても届かない、もしくは認証コードの有効期限が切れた場合、認証コードを再送できます。

1. 「認証コード再送」ボタンを押す



2. 「再送」ボタンを押す



《認証コード入力》画面に戻ります。

！ ご注意

上記の方法で問題が解決できない場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

7.3 パスワードを変更したいとき

事前に登録された利用者のパスワードを変更します。

！ ご注意

- 本アプリは特定 DTC 照会アプリ【Windows】と OBD 検査結果参照システムのパスワードは共通です。
- 本アプリでパスワードを変更すると、特定 DTC 照会アプリ【Windows】と OBD 検査結果参照システムにログインする際は変更後のパスワードを入力する必要があります。

1. 画面左側のメニューから「パスワード変更」を押す



2. パスワードを入力する

- ① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。
- ② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。
- ③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。



ご注意

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の3種類を、それぞれ1文字以上使用すること
 - 半角英字：A～Z、a～z
 - 半角数字：0～9
 - 半角記号：「-」「_」「.」「@」
- 例) Abc@92_i
- 8文字以上20文字以下で、ユーザーIDと異なる文字列であること
- 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること

3. 「変更」を押す

4. 変更完了メッセージを確認し、「戻る」を押す

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。



ご注意

生体認証ログインを行っている場合は、本機能のパスワード変更を行った際に、次回ログイン時に生体認証ログイン用ユーザー情報の更新が必要となります。

詳細は、📖「7.4 生体認証でログインしたいとき」を参照してください。

7.4 生体認証でログインしたいとき

利用端末に生体認証機能が搭載されており、生体認証情報が登録されている場合は、アプリのログイン機能として生体認証を利用することが可能です。



ご注意

- ・ 利用端末によっては、アプリのログイン機能で生体認証を使用できない場合があります。
- ・ 複数の生体認証情報を登録した場合は、最後に登録した生体認証情報のみ利用可能となります。

■生体認証ログインする（初回）

1. 「ユーザーID」と「パスワード」を入力し、「生体認証用ユーザーに登録する」にチェックを入れる



2. 「ログイン」を押す



3. 端末に登録されている生体認証情報で認証する

ユーザーID とパスワードに間違いがなければ、次回から生体認証でログインすることが可能となります。

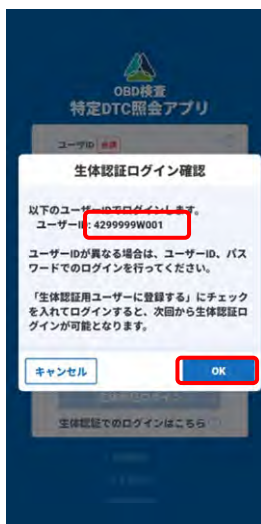
認証成功となったら、《ホーム（お知らせ）》画面が表示されます。

■ 生体認証ログインする（2 回目以降）

1. 「生体認証ログイン」を押す



2. ログインするユーザーを確認し、「OK」を押す



3. 端末に登録されている生体認証情報で認証する

端末に登録されている生体認証で認証成功となったら、《ホーム（お知らせ）》画面が表示されます。



ご注意

- 生体認証ログインを行っているユーザーがパスワード変更を行った際は、次回ログイン時に生体認証ログイン用ユーザー情報の更新が必要となります。
詳細は、  「7.4 生体認証でログインしたいとき」を参照してください。

7.5 車台番号に漢字が記載されているとき（職権打刻）

電子車検証または車検証等の車台番号に漢字が使用されているときは、アプリの「職権打刻」を選択して車台番号を入力します。



メモ

職権打刻とは、車台番号が消失した車両等に対して運輸支局の職権で車台番号を打刻することです。職権打刻により付けられた車台番号は、電子車検証または車検証等に以下のように表示されます。

例：国 [01] xxxx、東 [41] xxxx 東、大 [61] xxxx 大
(xxxx は数字で、桁数は車両により異なります。)

1. 《車両情報手入力》画面で「職権打刻」を押す



《職権打刻入力》画面が表示されます。

2. 車台番号を入力して確定する



No.	項目	説明
①	車台番号	各ボタンで入力した情報が表示されます。この欄の内容が、電子車検証または車検証等の車台番号の記載と同じ状態になるように入力します。
②	国	車台番号に「国」が記載されている場合、このボタンを押します。
③	運輸局	車台番号に「国」が記載されていない場合は、職権打刻の文字に応じた運輸局を選択します。 運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、📖「9.3 運輸局・運輸支局名一覧」を参照してください。
④	運輸支局	③で運輸局を選択した後、運輸支局を選択します。運輸支局を選択すると、漢字と[数字]のセットが表示されます。 例)「関東」を選択して、「神」を押した場合 車台番号 神[42]神 運輸局と運輸支局の略字（漢字）対応については、📖「9.3 運輸局・運輸支局名一覧」を参照してください。
⑤	数字	車台番号の一連番号部分を入力するときに押します。数字は、自動的に運輸支局の最後の漢字の前に挿入されます。（「国」の場合は末尾に挿入） 例)「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」を続けて押した場合 車台番号 神[42]1234567神
⑥	一文字削除	⑤で挿入した数字を 1 文字削除します。
⑦	閉じる	入力した車台番号を確定せず、この画面を閉じます。
⑧	クリア	車台番号（①）の内容をすべて削除します。
⑨	確定	入力した車台番号を確定して、この画面を閉じます。

「確定」を押すと、入力した車台番号を反映して《車両情報手入力》画面に戻ります。



メモ

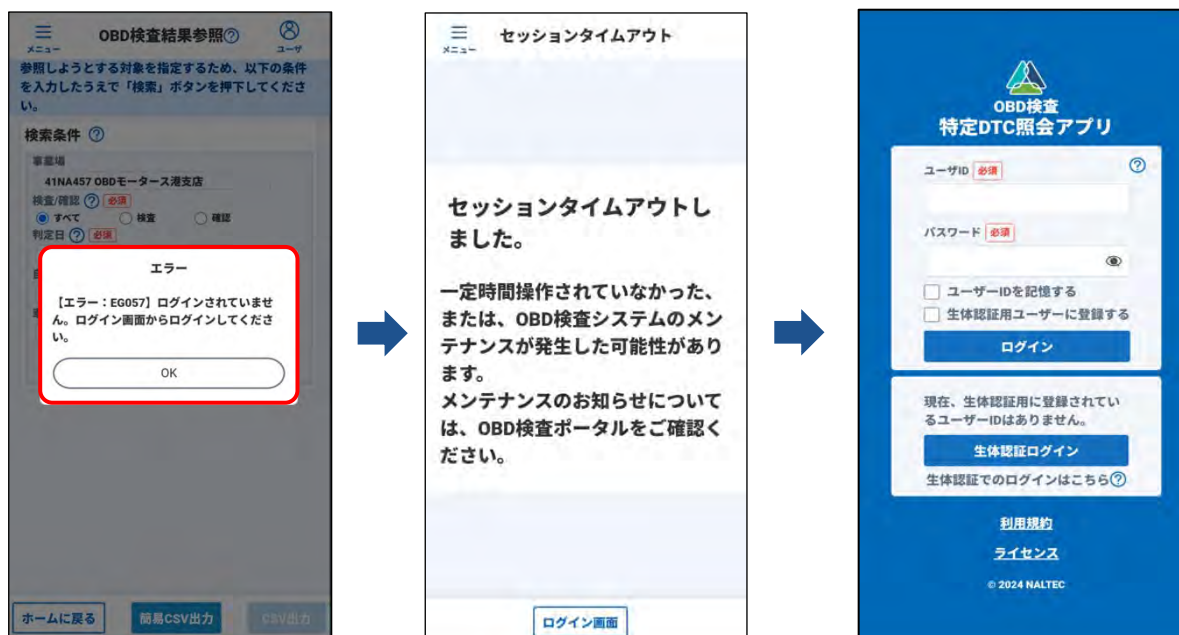
車台番号は、全角 1 文字 + [半角数字 2 桁] + 半角数字 + 全角 1 文字（「運輸局」で「国」を選択した場合、末尾の全角 1 文字はなし）の形式で入力してください。

以上で、職権打刻の場合の車台番号入力の操作は完了です。

7.6 「セッションタイムアウト」が表示されたとき

アプリにログインしたまま一定時間操作しないと、エラーメッセージが表示されログアウトとなります。

「ログイン画面」を押して再度ログインを行うか、アプリを終了させてください。



7.7 OBD 検査結果を参照したいとき

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両については、検査の判定日や車両情報をもとに検索することで、過去の OBD 検査結果を確認することができます。

事業場で実施した OBD 検査の結果を外部システムなどに取り込む場合には、CSV 形式で出力できます。

印刷して OBD 検査の結果を確認したい場合、自動車使用者の方への説明などに活用したい場合には、PDF ファイルとして出力できます。



ご注意

OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。



メモ

検索条件として設定できる判定日の範囲は最大で 3 年間となります。

1. メニューから、「OBD 検査結果参照」ボタンを押す

所属する事業場で実施した OBD 検査や OBD 確認の結果から、確認したい対象を絞り込んで検索できます。



2. 「検査／確認」で、確認したい検査結果を選択する

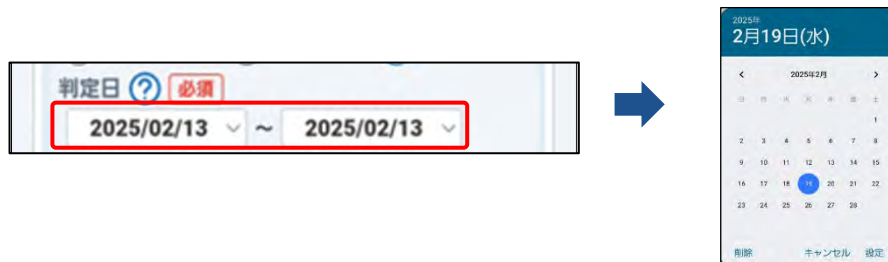


ボタン	説明
すべて	OBD 検査、OBD 確認両方の検査結果を検索します。
検査	OBD 検査の検査結果を検索します。
確認	OBD 確認の検査結果を検索します。

3. 確認したい検査結果の判定日を指定する

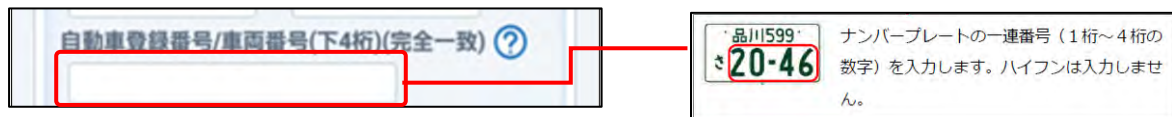
判定日とは、OBD 検査判定日（検査を実施した日）です。

日付の入力欄を押して、カレンダー表示から判定日の期間（開始年月日から終了年月日）を指定します。期間は、3 年以内で指定してください。

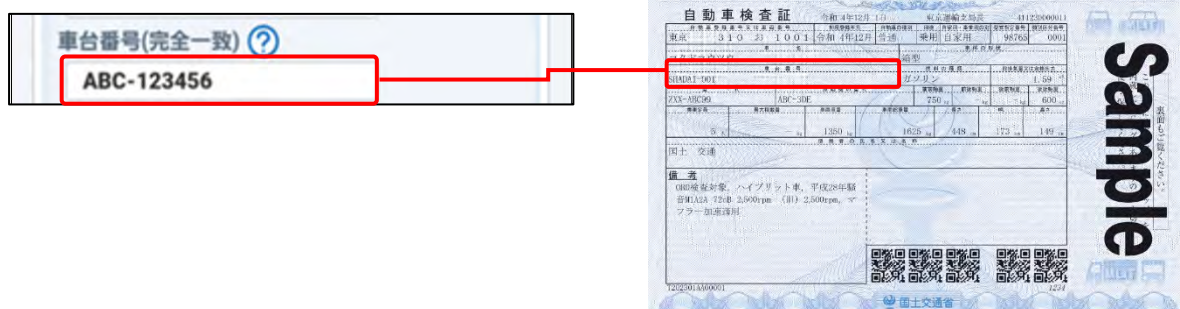


4. 必要に応じて、自動車登録番号または車両番号の下 4 桁（数字部分）を入力する

自動車登録番号または車両番号は、車検証またはナンバープレートに記載されています。



5. 必要に応じて、車台番号を入力する



6. 「検索」を押す



7. 検索結果を確認する

検索結果が表示されます。

検索結果が多い場合は、必要に応じて「残りを全て見る」を押して、画面を下にスクロールして確認します。

検索結果					
検査/確認	判定日時	登録番号/車両番号	車台番号	結果	操作
検査	2025/05/19 14:21		KH5S3P-T00001	不適合	詳細
検査	2025/05/19 14:18		KH3P-T00001	適合	詳細
検査	2025/05/19 13:29		CG5FA-T00001	不適合	詳細
検査	2025/05/19 13:27		CG5FA-T00001	不適合	詳細
残りを全て見る					
ホームに戻る 簡易CSV出力 CSV出力					

No.	項目	説明
①	検査結果	検査結果の適合／不適合が表示されます。 メモ OBD 確認の場合、「適合」「不適合」の表示は、実際の検査結果とは関係ありません。
②	操作	「詳細」を押すと、OBD 検査結果の詳細が表示されます。 「6.1 OBD 検査結果の詳細を表示する」を参照してください。
③	簡易 CSV 出力	15 日前以降の検査結果 CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。
④	CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。

必要に応じて、OBD 検査結果の詳細を CSV ファイルに出力します。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用することもできます。CSV 出力には、以下の 2 種類があります。

種類	出力ファイル名	出力内容
簡易 CSV 出力	OBDRESULT_SIMPLE_[事業場 ID].csv	15 日前以降の OBD 検査モードで実施した簡易的な検査結果（車台番号、判定日時、検査結果）が出力されます。 ご注意 OBD 確認モードの結果は出力されません。
CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddh_hmmss_[事業場 ID].csv	車台番号、判定日時、検査結果などに加えて、排ガス OBD および安全 OBD の検査結果が出力されます。



メモ

CSV 出力の操作は、上記の種類すべてにおいて共通です。

8. 「CSV 出力」を押して、CSV ファイルをダウンロードする



9. 「簡易 CSV 出力」を押して 15 日前以降の検査結果をダウンロードする



以上で、OBD 検査結果の CSV ファイルへの出力の操作は完了です。

7.8 検査対象型式を検索したいとき

型式および初度登録年月または初度検査年月をもとに検索することで、OBD 検査の対象車両であるか確認することができます。また、OBD 検査の対象車両である場合は、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報などを確認することができます。



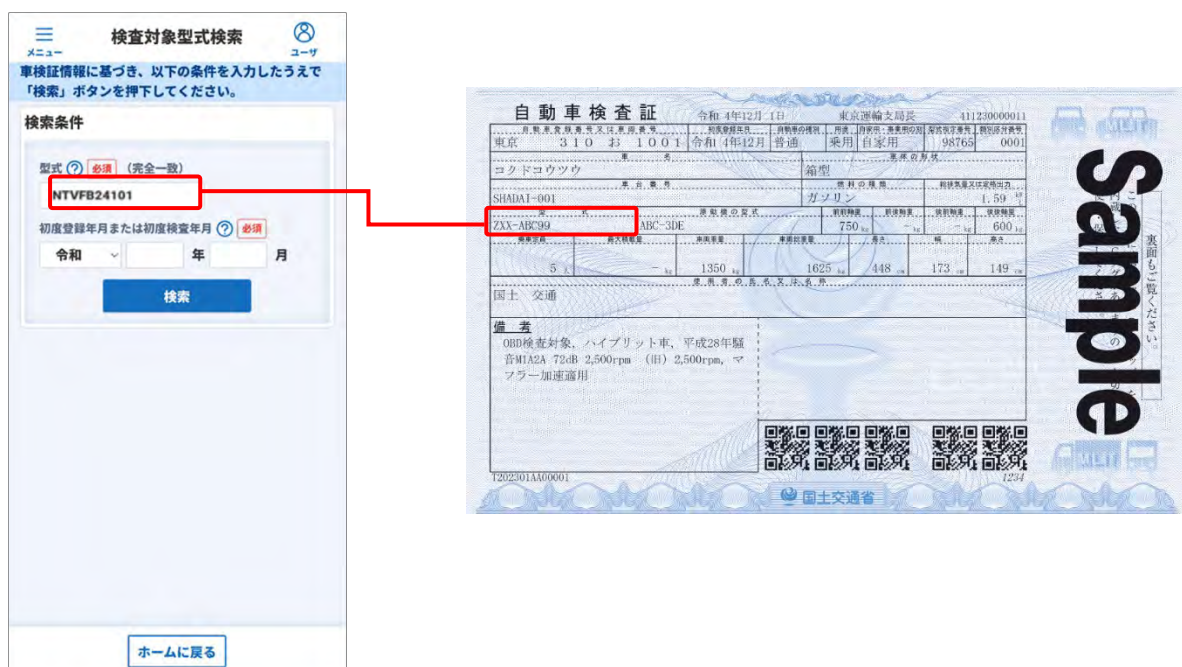
ご注意

電子車検証または車検証等に記載されている型式などの情報が必要です。

1. メニューから、「検査対象型式検索」を押す



2. 「型式」を入力する



3. 「初度登録年月または初度検査年月」を入力する

メニュー ユーザ

車検証情報に基づき、以下の条件を入力したうえで「検索」ボタンを押下してください。

検索条件

型式 (完全一致)

初度登録年月または初度検査年月 (必須)

検索

ホームに戻る

自動車検査証 令和 4 年 12 月 1 日 東京運輸支局長 411230000011

東京都	010-4-100-0	令和 4 年 12 月	普通	乗用	自家用	98765	0001
-----	-------------	-------------	----	----	-----	-------	------

車名: コクドコウツウ 型式: SHADA1-001 燃料: ガソリン 前駆重量: 1.59 t

車体番号: ZXX-ABC99 ABC-3DE 750 kg 600 kg

国土 交通

備考: OBD検査対象、ハイブリット車、平成28年騒音WIA2A 72dB 2,500rpm (IH) 2,500rpm、マフラー加速適用

1202301AA00001 1234

国土交通省



メモ

登録自動車の場合は「初度登録年月」、軽自動車の場合は「初度検査年月」として記載されています。

4. 「検索」を押す

メニュー ユーザ

車検証情報に基づき、以下の条件を入力したうえで「検索」ボタンを押下してください。

検索条件

型式 (完全一致)

初度登録年月または初度検査年月 (必須)

検索

ホームに戻る

5. 検索結果を確認する

検索対象型式検索

車検証情報に基づき、以下の条件を入力したうえで「検索」ボタンを押下してください。

検索条件

型式 (完全一致)

初度登録年月または初度検査年月

検索

検索結果

型式	車名	OBD検査時 車検証番号	OBD検査開始 年月日	接続端子位 置情報
NTVFB24101	対象外	対象外	対象外	対象外

ホームに戻る

検索した車両の型式が OBD 検査の対象かどうかが表示されます。

検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、以下のうち最も遅い年月日が表示されます。

- OBD 検査の検査開始年月日
(令和 6 年 1 0 月 1 日 (輸入車は令和 7 年 1 0 月 1 日))
- 諸元表の「指定年月日/新型届出年月日」から 2 年後の年月日
- 「初度登録年月」または「初度検査年月」から 10 か月後の年月日

検索した車両の型式が OBD 検査の対象の場合、「接続端子の位置情報」の欄に「詳細」ボタンまたは「準備中」が表示されます。

- 「詳細」を押すと、OBD 検査時に車両と検査用スキャンツールを繋ぐ接続端子の位置情報を確認できます。
- 「■データリンクコネクタの位置を確認する」を参照してください。
- 「準備中」は、OBD 検査に必要な情報がメンテナンス中の場合に表示されます。この場合、接続端子の位置情報は確認できません。

検索結果が多い場合は、必要に応じて画面一番下の「残りを全て見る」を押して、画面を下にスクロールして確認します。

7.9 誤って OBD 確認で検査をしてしまったとき

指定工場の完成検査において、OBD 検査モードで検査すべきところを OBD 確認モードで検査してしまったときは、《ホーム》画面に戻り OBD 検査モードを選択したうえで検査をやり直してください。

7.10 アプリが起動できないとき

インストール済みのアプリが起動できないときは、以下を確認してください。

- 必要な容量が十分であるか

詳細については、 「■アプリの動作環境」(P. 11) を参照してください。

7.11 アプリにログインできないとき

アプリにログインできない(《ログイン》画面でエラーが発生する)ときは、以下を確認してください。

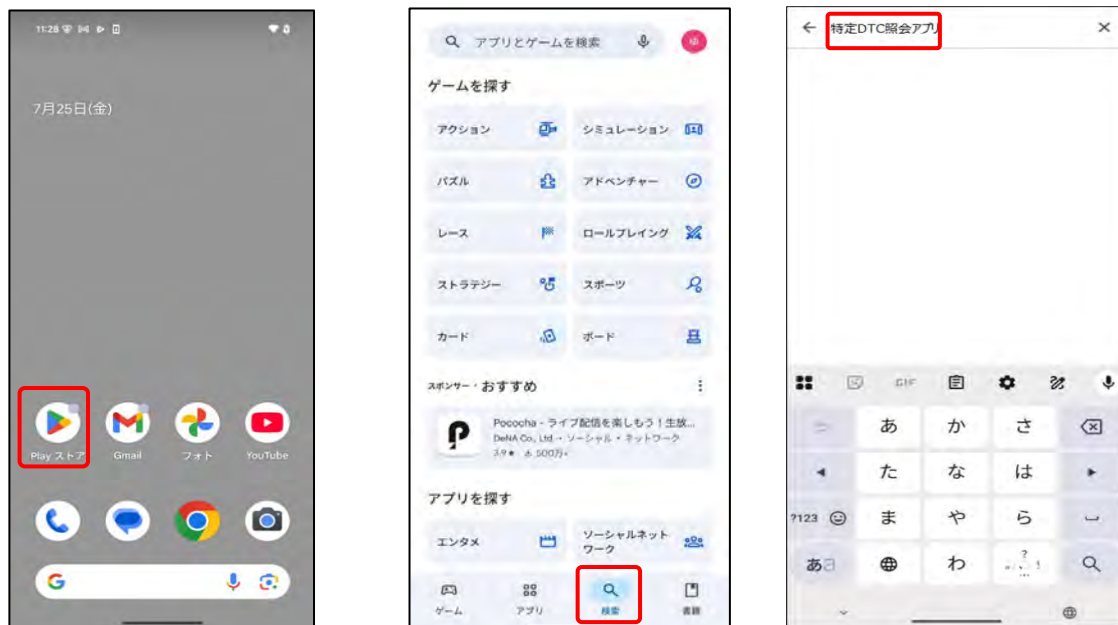
- 端末のインターネット接続が切断されていないか

詳細については、 「■アプリで OBD 検査を行うための条件」(P. 11) を参照してください。

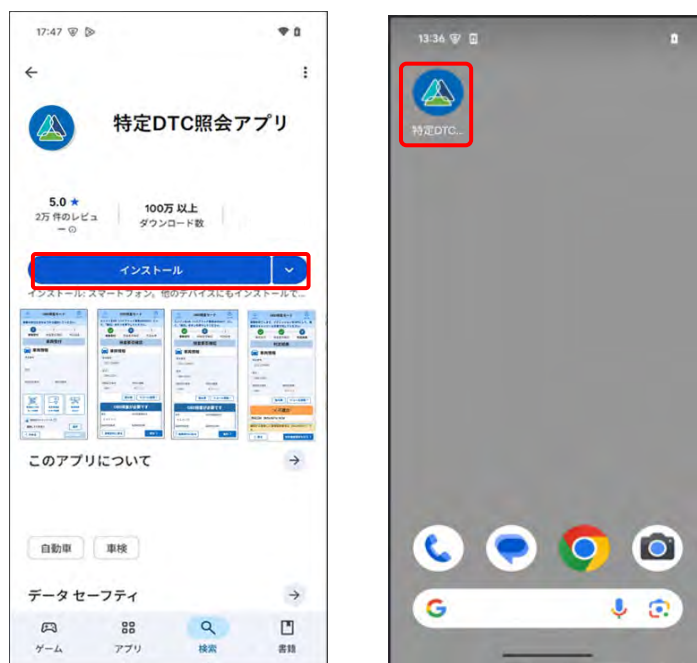
7.12 アプリをインストールしたいとき

本アプリは Google play store より入手可能なため、以下の手順をご確認ください。

1. 端末の Google Play Store を起動して、「特定 DTC 照会アプリ」と検索する



2. 「特定 DTC 照会アプリ」をインストールする



7.13 アプリをアップデートしたいとき

アプリのバージョンアップ画面が表示されるのは起動時もしくはログイン時です。インストールしているアプリは定期的にアップデートが行われるため、画面の表示に従ってアップデートを行ってください。



「更新」を押すと、特定 DTC 照会アプリ【Android】は終了し、自動的に再起動します。

「×」（アップデートしない）を押すと、アプリは起動できません。

「詳細」を押すと、アップデートの情報が表示されます。



メモ

アプリ起動時だけでなく、Google Play Store や Android の設定画面からでもアップデートできます。

7.14 使用した検査用スキャンツールの情報を確認したいとき

OBD 検査で使用した検査用スキャンツールの型式等、詳細な情報を確認することができます。
確認したい場合は、「VCI 情報表示」を押してください。



OBD 検査完了後に押すことができます。

検査用スキャンツールの情報が表示されます。



メモ

検査用スキャンツールが認定されているかの確認方法については OBD 検査ポータル の、「OBD 検査で使用する機器」に掲載しています。

《OBD 検査ポータル》

OBD 検査で使用する機器 / 検査用スキャンツール (必須)

<https://www.obd.naltec.go.jp/mainte/device/>

7.15 『車両との通信ができませんでした。』のメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「車両との通信ができませんでした。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、表示される案内に沿って以下の操作を行ってください。



- 車両の原動機を始動している（ハイブリッド車、電気自動車は READY にしている）ことを確認してください。
- 検査用スキャンツールの接続端子とデータリンクコネクタとの隙間に異物が混入していないか確認してください。
- データリンクコネクタに検査用スキャンツールの接続端子が確実に差し込まれているか確認してください。

7.16 検査用スキャンツールに関するメッセージが表示されたとき

OBD 検査実施後、「お使いの検査用スキャンツールは認定されていない可能性があります。」とメッセージが表示された場合は、「詳細」リンクを押して、内容を確認してください。



このメッセージが出たら、一般社団法人日本自動車機械工具協会の HP にて、お使いの検査用スキャンツールが認定されているかどうかをご確認ください。

認定されていない（認定されているものと、型式、ドライバ・バージョン、ファームウェア・バージョンのいずれかが異なる）

お使いの検査用スキャンツールは、ご使用できません。

認定されている場合（OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない）

認定されてから間もないため、OBD 検査システムに型式またはバージョンの情報がまだ登録されていない状態です。

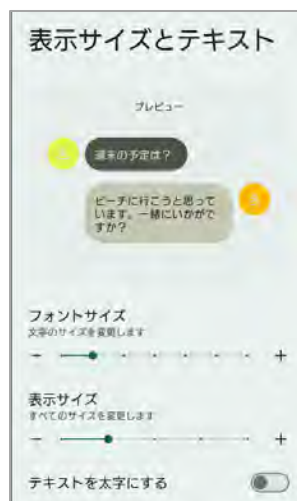
そのまま OBD 検査および OBD 確認にご利用いただけます。

なお、OBD 検査システムに登録されるまでの間は、検査場への持込検査の際の OBD 検査省略はされませんのでご了承ください。（およそ 3 週間で登録されます）

7.17 本アプリで画面の崩れが発生したとき

本アプリで画面の表示が崩れたり入力枠の位置がずれる場合は、端末のフォントサイズや表示サイズが大きく設定されている可能性があります。端末のフォントサイズや表示サイズの設定を適切な大きさに調整してお試してください。

例：端末の設定画面の「ディスプレイ」項目で、フォントサイズや表示サイズを調整することができます。



※端末により設定画面は異なります。

8 お問い合わせ

8.1 お問い合わせ先

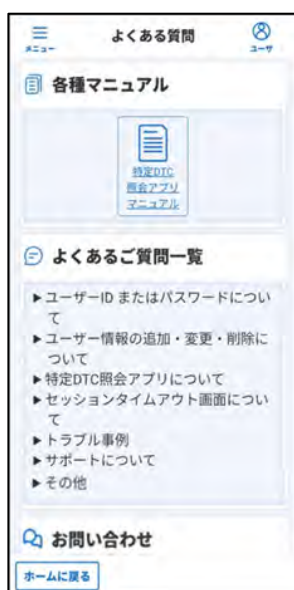
アプリについてのお問い合わせ先は以下になります。

問い合わせ先名称：OBD 検査コールセンター

電話番号：0570-022-574

対応時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分（12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）

お問い合わせ先は、アプリの《よくある質問》画面から確認できます。



お問い合わせ先電話番号

9 付録

9.1 アプリが起動できない場合の対処方法

特定 DTC 照会アプリ【Android】を起動する際に、エラーメッセージが表示される場合があります。

対処方法に沿って、対応を行ってください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
e001001001	セキュリティプロファイルの読み込みに失敗しました。(e001001001)	特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
e001001002	セキュリティプロファイルの読み込みに失敗しました。(e001001002)	特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
e001001003	セキュリティプロファイルの読み込みに失敗しました。(e001001003)	特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
SB4A-40101	USB デバッグモードが有効なためセキユアブラウザを終了します。	設定アプリの開発者向けオプションで、USB デバッグモードを OFF にしてください。 特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。

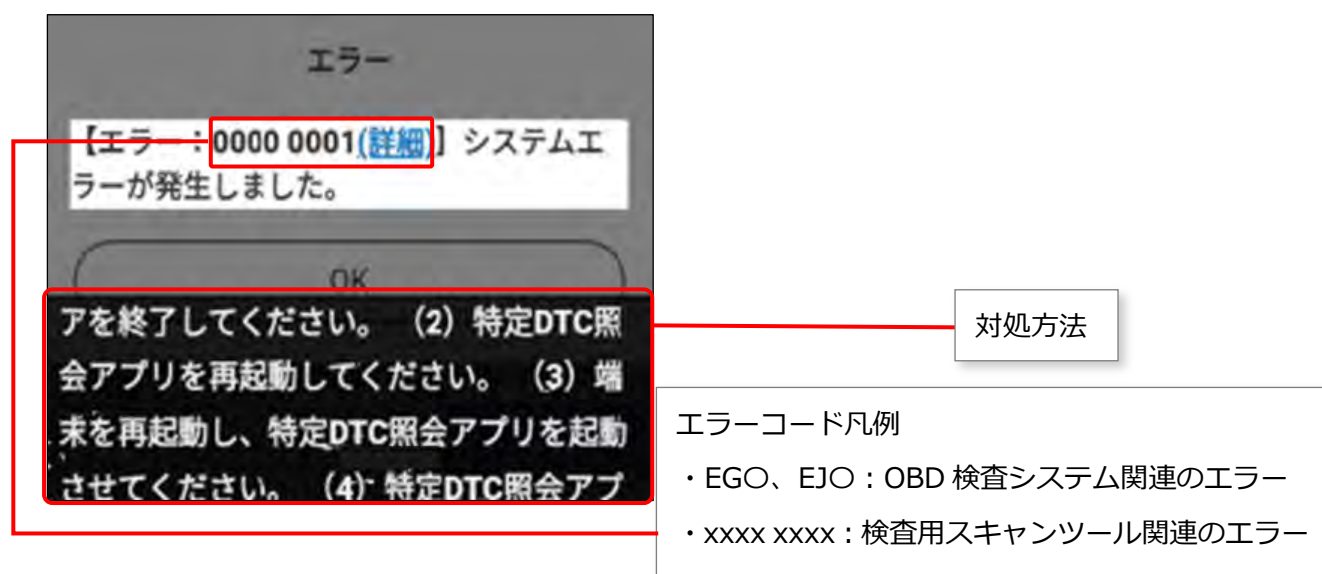
エラーコード	メッセージ	対処方法
SB4A-40102	外部ストレージがマウントされているため起動できません。	端末に挿入されている SD カードを取り外してください。 特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
SB4A-40103	セーフモードのため起動できません。	特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
SB4A-40104	指定プロセスが起動していないため起動できません。	特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。
SB4A-40105	USB が接続されているため起動できません。	端末の USB に接続している機器を取り外してください。 特定 DTC 照会アプリ【Android】を終了してから再度、起動してください。 それでも、同様のメッセージが表示される場合は、一度、端末を再起動してください。 解決しない場合は、OBD 検査コールセンターまでお問い合わせください。

9.2 エラーメッセージと対処方法

アプリの操作でエラーが発生したときは、エラーメッセージが表示されます。本項目では、主なエラーメッセージを掲載しています。

対処方法に手順がある場合、エラーコードの末尾に（詳細）が表示されます。

（詳細）を押すと、対処方法がポップアップで表示されます。



エラーコード	メッセージ	対処方法
EG001	【エラー：EG001】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG002	【エラー：EG002】パラメータ○は△文字以上、△文字以内で入力してください。  メモ ○には、項目名が表示されます。 △には、数字が表示されます。	メッセージに従って対処してください。
EG006	【エラー：EG006】システムエラーが発生しました。サーバー側で予期せぬエラーが発生しました。しばらく待ってから再度試してください。時間が経っても解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG007	【エラー：EG007】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
EG062	【エラー：EG062】エラーが発生しました。アプリケーションを再起動してください。問題が解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
EG063	【エラー：EG063】ユーザーID またはパスワードが正しくありません。	メッセージに従って対処してください。
EG065	【エラー：EG065】新しいパスワードは○文字以上、△文字以内で入力してください。  メモ ○、△には、数字が表示されます。	メッセージに従って対処してください。
EG066	【エラー：EG066】パスワードの有効期限が切れています。所属する組織の管理者もしくは責任者にパスワードの再発行を依頼してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ001	【エラー：EJ001】ユーザーID とパスワードを入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ002	【エラー：EJ002】ユーザーID を入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ002	【エラー：EJ003】パスワードを入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ017	【エラー：EJ017】セキュリティコードが不正です。電子車検証または車検証等に記載されている 4 桁の数字を入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ019	【エラー：EJ019(詳細)】正常に読み込むことができません。再度、電子車検証を読み取ってください。	表示される以下の対処方法に従って対処してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
	(詳細) 電子車検証 IC タグの読み取りに失敗しました。 以下のいずれかの対処をしたうえで、「読取開始」ボタンを押してください (1) セキュリティコードが間違っている可能性があります。電子車検証の券面を確認し、再度セキュリティコードを入力してください。 (2) 読み取りした IC タグが電子車検証ではない可能性があります。確認してください。 (3) 金属製のものが近くにある場合、上手く読み取れない可能性があります。近くに金属製のものがないか確認してください。 (4) 電子車検証の IC タグと読み取り端末の距離が離れている可能性があります。電子車検証の IC タグの位置を確認して、読み取り端末を近づけてください。 (5) 電子車検証を読み取り中に動かすと、上手く読み取れない可能性があります。読み取り中は数秒間、電子車検証を動かさずかざしてください。 解決しない場合は「閉じる」ボタンを押した後、「車両情報手入力」ボタンにより、車両情報を入力してください。	
EJ035	【エラー：EJ035】車台番号と型式が誤っている可能性があります。車台番号と型式が正しいか確認してください。	• 車両受付可能な車両か確認してください。  「3 車両受付をする」
EJ036	【エラー：EJ036】車台番号が誤っている可能性があります。車台番号が正しいか確認してください。	
EJ039	【エラー：EJ039】車台番号（職権打刻除く）は半角英数文字および記号で入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ101	【エラー：EJ101】「ユーザーID」が記憶されていません。「ユーザーID」、「パスワード」でログインしてください。	メッセージに従って対処してください。
EJ104	【エラー：EJ104】認証コードを入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ105	【エラー：EJ105】認証コードは、半角 4 桁で入力してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ106	【エラー：EJ106】正常に読み込むことができません。車検証の二次元コード（二次元コード 2 または二次元コード 3）を読み取ってください。	メッセージに従って対処してください。

エラーコード	メッセージ	対処方法
EJ108	【エラー：EJ108】カメラの起動に失敗しました。	端末の設定でアプリに対してカメラの権限を許可しているかを確認してください。 許可されている場合には、操作対象の端末のカメラがアプリでは利用できない可能性があります。 端末を再起動いただいてもカメラ利用ができない場合、別の方法で車両情報を入力してください。
EJ116	【エラー：EJ116】生体認証情報が端末に登録されていません。端末の設定アプリから生体認証情報を登録してください。	メッセージに従って対処してください。
EJ117	【エラー：EJ117】本アプリの生体認証ログインに対応していない端末です。ユーザーID・パスワードを入力して、ログイン操作を行ってください。	メッセージに従って対処してください。
EJ118	【エラー：EJ118】生体認証でシステムエラーが発生しました。ユーザーID・パスワードを入力して、ログイン操作を行ってください。	メッセージに従って対処してください。
EJ901	【エラー：EJ901】システムエラーが発生しました。同じ操作を複数回実施してもエラーになる場合はコールセンターにお問合せください。	メッセージに従って対処してください。
EJ902	【エラー：EJ902(詳細)】通信エラーが発生しました。同じ操作を実行するか、(詳細)をクリックして対処方法を確認してください。	表示される以下の対処方法に従って対処してください。
	(詳細) 通信エラーが発生しました。 以下のいずれかの対処をしてください。 (1) 端末のインターネット接続環境を確認してください。 (2) 特定 DTC 照会アプリ【Android】以外のすべてのソフトウェアを終了し、初めから操作してください。 (3) 特定 DTC 照会アプリ【Android】を再起動し、初めから操作してください。 (4) 端末を再起動し、初めから操作してください。 解決しない場合はコールセンターにお問い合わせください。 OBD 検査コールセンター 電話番号：0570-022-574 対応時間：9 時 00 分～17 時 00 分（12 月 29 日から 1 月 3 日を除き、年中無休）	

エラーコード	メッセージ	対処方法
0000 0002	【エラー：0000 0002（詳細）】検査用スキャンツールとの接続に失敗しました。 （詳細） 検査用スキャンツールとの接続に失敗しました。 以下のいずれかの対処をしてください。 （1）特定 DTC 照会アプリ【Android】で選択した検査用スキャンツールと、端末に接続されている検査用スキャンツールが同じか確認してください。 （2）検査用スキャンツールメーカーのマニュアルを参照して、端末と検査用スキャンツールの接続状態を確認してください。 確認の方法が不明の場合は検査用スキャンツールメーカーにお問い合わせください。	メッセージに従って対処してください。
0000 0003	【エラー：0000 0003】検査用スキャンツールとの通信が途絶しました。	操作端末と検査用スキャンツール間の通信が断絶してしまったものと考えられるため、以下をご確認ください。 ・操作端末と検査用スキャンツール間に、障害物などがある場合は除去する ・操作端末と検査用スキャンツールの距離が離れている場合は近づける ・その他の Bluetooth 接続機器がある場合は、検査用スキャンツールからできるだけ離す
0002 0002	【エラー：0002 0002】検査用スキャンツールのセットアップが正しく行われていません。	検査用スキャンツールの設定を確認してください。
0002 0005	【エラー：0002 0005】検査用スキャンツールのセットアップが正しく行われていません。	検査用スキャンツールの設定を確認してください。
1000 0001	【エラー：1000 0001】検査用スキャンツールとの通信でエラーが発生しました。	検査用スキャンツールが認定されていないことや、OBD 検査の設定になっていないことなどが考えられます。 詳細な対処方法は OBD 検査ポータルをよくある質問（FAQ）を参照してください。

9.3 運輸局・運輸支局名一覧（職権打刻）

《職権打刻入力》画面で使用する運輸局・運輸支局のボタン名と一覧表を下表に示します。



運輸局 (ボタン)	運輸局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名
北海道	北海道運輸局	札	札幌運輸支局	函	函館運輸支局
		旭	旭川運輸支局	室	室蘭運輸支局
		釧	釧路運輸支局	帯	帯広運輸支局
		北	北見運輸支局		
東北	東北運輸局	青	青森運輸支局	手	岩手運輸支局
		宮	宮城運輸支局	秋	秋田運輸支局
		形	山形運輸支局	島	福島運輸支局
関東	関東運輸局	茨	茨城運輸支局	栃	栃木運輸支局
		群	群馬運輸支局	玉	埼玉運輸支局
		千	千葉運輸支局	東	東京運輸支局
		神	神奈川運輸支局	山	山梨運輸支局
北信	北陸信越運輸局	新	新潟運輸支局	富	富山運輸支局
		石	石川運輸支局	野	長野運輸支局
中部	中部運輸局	井	福井運輸支局	岐	岐阜運輸支局
		静	静岡運輸支局	愛	愛知運輸支局
		三	三重運輸支局		

運輸局 (ボタン)	運輸局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名	運輸支局 (ボタン)	運輸支局名
近畿	近畿運輸局	賀	滋賀運輸支局	京	京都運輸支局
		大	大阪運輸支局	奈	奈良運輸支局
		歌	和歌山運輸支局	兵	兵庫陸運部
中国	中国運輸局	取	鳥取運輸支局	根	島根運輸支局
		岡	岡山運輸支局	広	広島運輸支局
		口	山口運輸支局		
四国	四国運輸局	徳	徳島運輸支局	香	香川運輸支局
		媛	愛媛運輸支局	知	高知運輸支局
九州	九州運輸局	福	福岡運輸支局	佐	佐賀運輸支局
		長	長崎運輸支局	本	熊本運輸支局
		分	大分運輸支局	崎	宮崎運輸支局
		児	鹿児島運輸支局		
沖縄	沖縄総合事務局 運輸部	沖	沖縄総合事務局 運輸部		

9.4 OBD 検査ポータル

OBD 検査ポータルの URL は以下になります。

URL : <https://www.obd.naltec.go.jp>

9.5 改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2025.10.26	第 1 版	新規作成